

I 調査の趣旨

当調査は、行政活動の評価に関する条例(平成13年宮城県条例第70号)第7条第1項及び第2項の規定に基づいて実施し、その結果を取りまとめ、公表するものです。

II 調査の概要

1 調査目的

県民の県政に対する意向を数値化して把握し、主に次の事項に活用するものです。

- (1) 県の政策、施策の評価
- (2) 政策、施策の課題や解決策検討
- (3) 翌年度以降の施策や事業等の企画立案
- (4) 県の政策、施策に関する県民との情報の共有

2 調査対象

宮城県に居住する20歳以上の男女 4,000人(選挙人名簿から無作為抽出)

3 調査方法

郵送方式

4 調査期間

平成20年3月1日(土)から平成20年3月21日(金)まで

5 調査項目

- 「宮城の将来ビジョン」に基づく33の取組の「認知度」、「関心度」、「重視度」、「満足度」、「優先すべき項目」
- 特定項目(「農業・農村」、「食の安全・安心」、「治安・防災」)
- 回答者属性及び調査方法等に関する項目

6 回収結果

- 回収数 1,842通
- 回収率 46.05%



7 調査結果の見方

本調査結果で使用している比率は百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。このため、百分率の計が100%にならないことがあります。

8 その他

今回の調査は、県の政策推進の基本方向を示した「宮城の将来ビジョン」の体系に沿った調査項目や内容としており、従来の「県民満足度調査」から大幅な見直しを行ったため、今回の調査結果については、過去の調査結果と比較することはできません。

Ⅲ 調査結果の概要

今回の本調査における結果は次のとおりです。

1 「宮城の将来ビジョン」: 政策推進の基本方向に関する調査結果

「宮城の将来ビジョン」で定めている政策推進の3つの基本方向を構成する33の取組ごとに「重視度」及び「満足度」を調査したところ、次のような結果となりました。

(1) 富県宮城の実現 ～県内総生産 10 兆円への挑戦～

政策推進の基本方向・課題		取組	
富県宮城の実現 県内総生産10兆円への挑戦	①育成・誘致による県内製造業の集積促進	取組 1	地域経済を力強くけん引するものづくり産業(製造業)の振興
		取組 2	産学官の連携による高度技術産業の集積促進
		取組 3	豊かな農林水産資源と結びついた食品製造業の振興
	②観光資源・知的資産を活用した商業・サービス産業の強化	取組 4	高付加価値型サービス産業・情報産業及び地域商業の振興
		取組 5	地域が潤う、訪れてよしの観光王国みやぎの実現
	③地域経済を支える農林水産業の競争力強化	取組 6	競争力ある農林水産業への転換
		取組 7	地産地消や食育を通じた需要の創出と食の安全安心の確保
	④アジアに開かれた広域経済圏の形成	取組 8	県内企業のグローバルビジネスの推進と外資系企業の立地促進
		取組 9	自律的に発展できる経済システム構築に向けた広域経済圏の形成
	⑤産業競争力の強化に向けた条件整備	取組 10	産業活動の基礎となる人材の育成・確保
		取組 11	経営力の向上と経営基盤の強化
		取組 12	宮城の飛躍を支える産業基盤の整備

調査結果の特徴

【重視度】

○県全体の重視度を見ると、「取組3:豊かな農林水産資源と結びついた食品製造業の振興(81.1%)」、「取組7:地産地消や食育を通じた需要の創出と食の安全安心の確保(82.4%)」の2つの取組で高重視群(「重要」、「やや重要」と回答した者の割合)が8割を超える高い数値を示しています。

一方、高重視群が6割を下回った取組は、「取組2:産学官の連携による高度技術産業の集積促進(57.3%)」、「取組4:高付加価値型サービス産業・情報産業及び地域商業の振興(51.0%)」、「取組8:県内企業のグローバルビジネスの推進と外資系企業の立地促進(41.4%)」、「取組9:自律的に発展できる経済システム構築に向けた広域経済圏の形成(42.5%)」、「取組11:経営力の向上と経営基盤の強化(52.7%)」となっています。

また、12取組中7取組で「わからない」とする回答が2割を超えており、このうち「取組9」については3割を超えています。(図1-1-1)

○属性別の高重視群について、県全体の傾向との差異を見ると、【県全体】では「取組7」が最も高くなっているのに対し、【男性】【仙南圏域】【大崎圏域】【気仙沼・本吉圏域】では「取組3」が最も高くなっています。(表1-1)

【満足度】

○県全体の満足度を見ると、12取組中4取組で満足群(「満足」、「やや満足」と回答した者の割合)が4割を超えており、このうち「取組3(51.9%)」の満足群が5割を超える高い数値を示しています。

一方、満足群が3割を下回った取組は、「取組4(29.9%)」、「取組8(24.5%)」、「取組9(28.8%)」、「取組11(26.9%)」となっています。

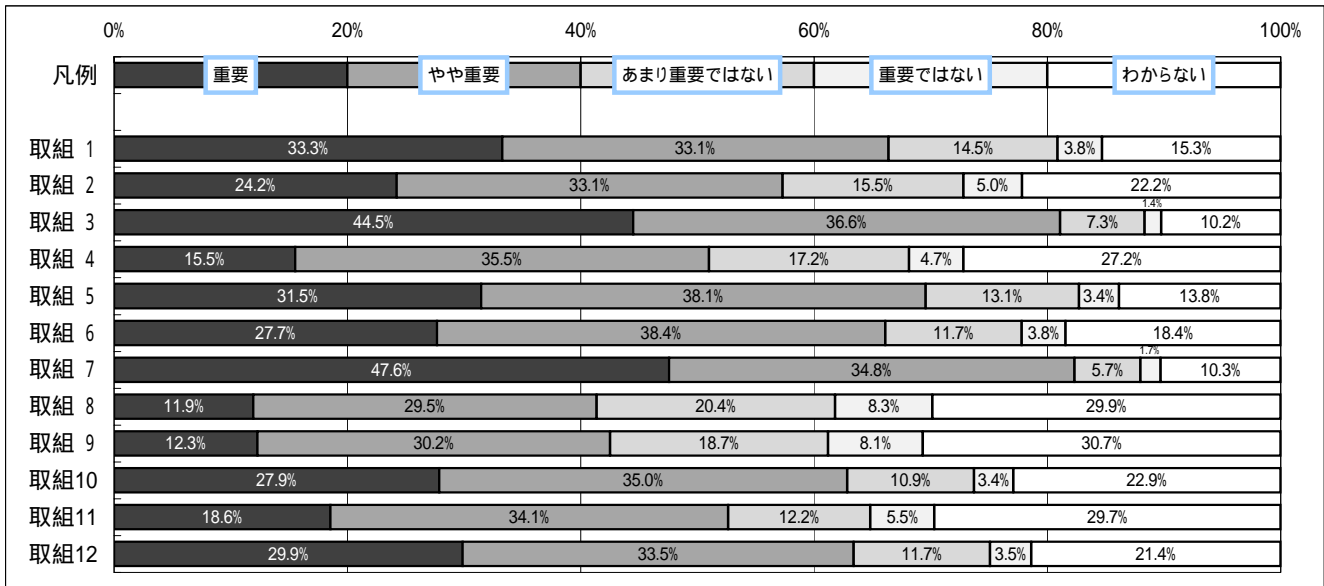
また、12取組中5取組で「わからない」とする回答が4割を超えており、その中でも「取組9」については5割を超えています。(図1-2-1)

○属性別の満足群について、県全体との傾向の差異を見ると、【県全体】では「取組3」が最も高くなっているのに対し、【男性】【大崎圏域】では「取組1:地域経済を力強くけん引するものづくり産業(製造業)の振興」、【仙台圏域】では「取組5:地域が潤う、訪れてよしの観光王国みやぎの実現」、【石巻圏域】では「取組7」が最も高くなっています。(表1-2)



【 1 - 1 】 重視度割合データ (富県宮城の実現県内総生産 ~ 10兆円への挑戦 ~ < 取組 1 ~ 12 >)

< 図 1 - 1 - 1 重視度割合 (全回答) >



本図は、全回答(「重要」、「やや重要」、「あまり重要ではない」、「重要ではない」、「わからない」)について、それぞれの割合を表示したものです。

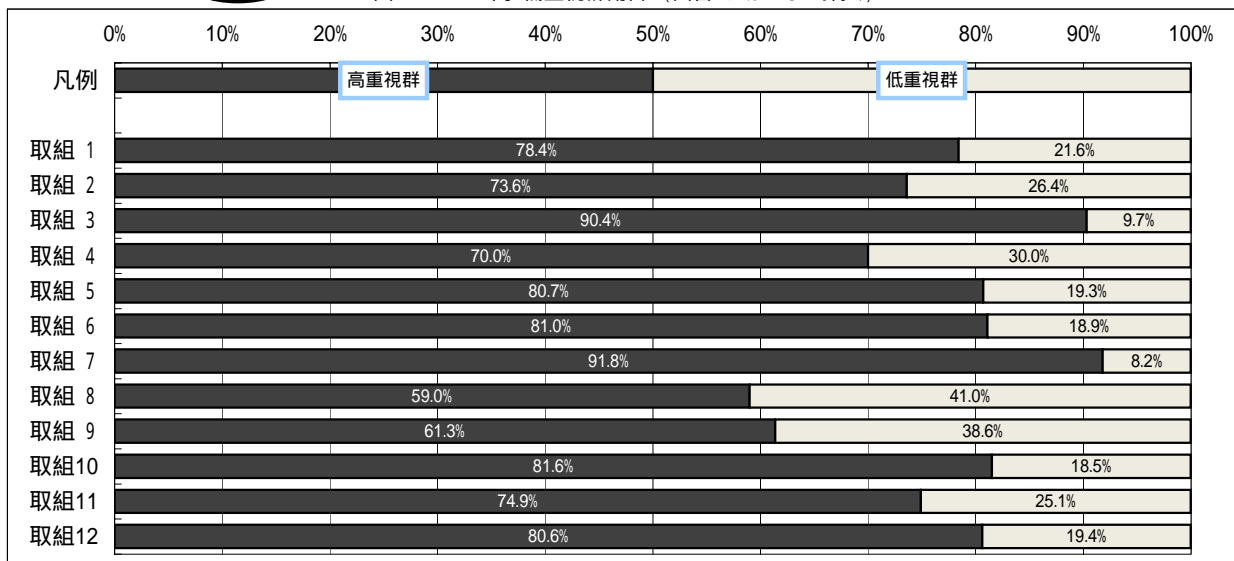
< 表 1 - 1 高重視群一覧 (回答者属性別) >

	県全体	性別		年齢別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組 1	66.4%	72.5%	62.0%	64.8%	71.6%	62.7%	60.1%	71.2%	72.0%	68.1%	62.4%	72.1%
取組 2	57.3%	65.2%	50.9%	54.3%	65.0%	52.3%	55.5%	56.5%	62.4%	58.9%	52.9%	65.1%
取組 3	81.1%	82.3%	80.5%	82.0%	80.2%	82.0%	80.5%	78.6%	79.7%	82.4%	81.0%	86.8%
取組 4	51.0%	54.6%	47.8%	48.0%	58.2%	53.1%	49.6%	48.7%	52.8%	53.6%	39.3%	59.0%
取組 5	69.6%	71.5%	68.2%	68.3%	72.8%	68.8%	73.8%	66.6%	65.6%	69.0%	69.3%	77.8%
取組 6	66.1%	70.3%	63.2%	64.4%	71.3%	62.2%	64.7%	58.9%	66.3%	66.7%	73.6%	75.3%
取組 7	82.4%	82.1%	82.8%	82.3%	82.7%	80.6%	85.6%	78.3%	80.1%	84.5%	87.0%	83.1%
取組 8	41.4%	48.6%	35.2%	38.4%	48.4%	39.6%	43.5%	39.4%	44.0%	42.3%	36.7%	44.3%
取組 9	42.5%	50.6%	36.2%	38.8%	52.5%	39.0%	45.4%	42.6%	45.9%	43.1%	38.9%	48.5%
取組 10	62.9%	68.6%	58.4%	62.0%	65.9%	62.9%	57.7%	62.4%	64.2%	65.2%	64.4%	66.7%
取組 11	52.7%	60.0%	46.5%	51.6%	54.9%	53.0%	50.2%	52.4%	50.7%	53.4%	47.4%	62.8%
取組 12	63.4%	72.3%	55.4%	62.0%	66.3%	58.9%	62.2%	57.7%	55.2%	62.6%	68.5%	81.5%

本表は、全回答に占める高重視群(「重要」、「やや重要」と回答した者)の割合を属性別に表示したものです。

参考

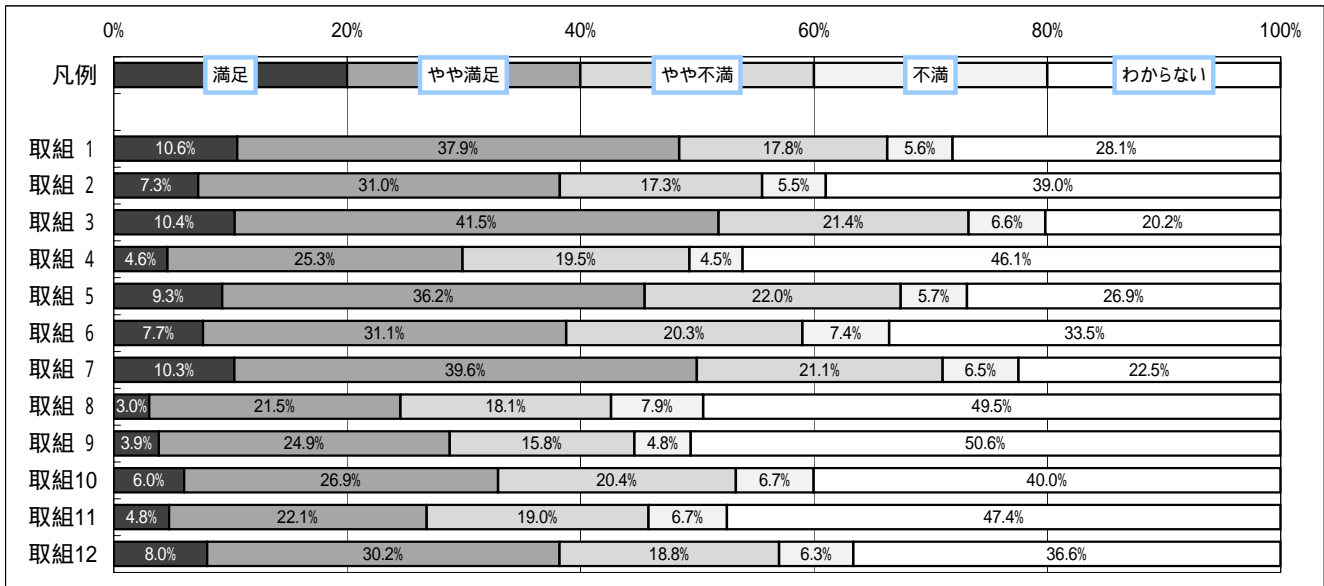
< 図 1 - 1 - 2 高・低重視群割合 (回答「わからない」除く) >



本図は、全回答から「わからない」を除き、重視度を評価した回答者について高重視群と低重視群(「あまり重要ではない」、「重要ではない」と回答した者)の2つのグループに分類して、その割合を表示したものです。

【 1 - 2 】 満足度割合データ (富県宮城の実現県内総生産 ~ 10兆円への挑戦 ~ < 取組 1 ~ 12 >)

< 図 1 - 2 - 1 満足度割合 (全回答) >



本図は、全回答(「満足」、「やや満足」、「やや不満」、「不満」、「わからない」)について、それぞれの割合を表示したものです。

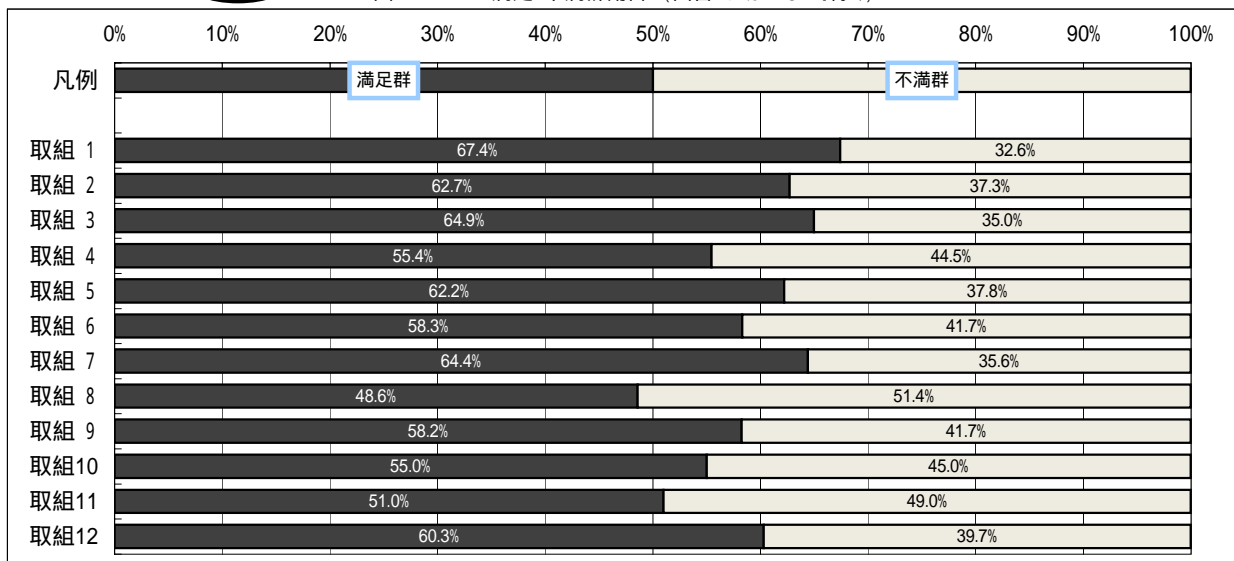
< 表 1 - 2 満足群一覧 (回答者属性別) >

取組	県全体	性別		年齢別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組 1	48.5%	54.0%	43.8%	44.4%	58.6%	42.4%	48.1%	51.7%	50.5%	52.8%	42.3%	54.3%
取組 2	38.3%	43.6%	33.9%	33.7%	49.4%	29.8%	35.5%	37.4%	45.2%	45.8%	31.7%	45.3%
取組 3	51.9%	51.7%	52.5%	49.2%	59.0%	47.7%	47.4%	50.0%	53.1%	56.7%	48.8%	60.2%
取組 4	29.9%	30.2%	29.6%	25.3%	40.4%	27.9%	28.5%	29.4%	27.9%	33.8%	24.6%	35.6%
取組 5	45.5%	44.9%	46.6%	41.9%	55.0%	41.0%	52.7%	42.9%	44.9%	43.0%	42.6%	54.9%
取組 6	38.8%	39.1%	39.0%	34.1%	50.4%	32.1%	41.0%	34.6%	37.7%	38.5%	43.4%	48.4%
取組 7	49.9%	49.1%	51.1%	46.9%	57.3%	44.5%	49.5%	49.1%	49.8%	56.5%	50.0%	52.6%
取組 8	24.5%	27.9%	21.7%	20.3%	34.2%	22.2%	27.0%	20.7%	26.8%	28.2%	20.8%	25.6%
取組 9	28.8%	34.1%	24.4%	24.3%	39.2%	28.6%	30.4%	26.9%	30.3%	28.4%	24.4%	32.8%
取組 10	32.9%	35.2%	31.8%	28.8%	43.6%	32.0%	27.2%	32.2%	35.5%	36.7%	35.3%	36.2%
取組 11	26.9%	30.4%	23.6%	22.9%	35.5%	23.7%	24.0%	27.8%	25.1%	30.5%	26.4%	30.9%
取組 12	38.2%	44.5%	33.3%	34.7%	47.5%	37.1%	40.8%	37.4%	32.6%	41.0%	39.9%	43.7%

本表は、全回答に占める満足群(「満足」、「やや満足」と回答した者)の割合を属性別に表示したものです。

参考

< 図 1 - 2 - 2 満足・不満群割合 (回答「わからない」除く) >



本図は、全回答から「わからない」の回答を除き、満足度を評価した回答者について満足群と不満群(「やや不満」、「不満」と回答した者)の2つのグループに分類して、その割合を表示したものです。

(2) 安心と活力に満ちた地域社会づくり

政策推進の基本方向・課題		取組	
安心と活力に満ちた地域社会づくり	⑥子どもを生み育てやすい環境づくり	取組13	次代を担う子どもを安心して生み育てることができる環境づくり
		取組14	家庭・地域・学校の協働による子どもの健全な育成
	⑦将来の宮城を担う子どもの教育環境づくり	取組15	着実な学力向上と希望する進路の実現
		取組16	豊かな心と健やかな体の育成
		取組17	児童生徒や地域のニーズに応じた特色ある教育環境づくり
	⑧生涯現役で安心して暮らせる社会の構築	取組18	多様な就業機会や就業環境の創出
		取組19	安心できる地域医療の充実
		取組20	生涯を豊かに暮らすための健康づくり
		取組21	高齢者が元気に安心して暮らせる環境づくり
		取組22	障害があっても安心して生活できる地域社会の実現
⑨コンパクトで機能的なまちづくりと地域生活の充実	取組23	生涯学習社会の確立とスポーツ・文化芸術の振興	
	取組24	コンパクトで機能的なまちづくりと地域生活の充実	
⑩だれもが安全に、尊重し合いながら暮らせる環境づくり	取組25	安全で安心なまちづくり	
	取組26	外国人も活躍できる地域づくり	

調査結果の特徴

【重視度】

○県全体の重視度を見ると、14取組中11取組で高重視群(「重要」,「やや重要」と回答した者の割合)が7割を超えており、このうち「取組13:次代を担う子どもを安心して生み育てることができる環境づくり(89.8%)」,「取組14:家庭・地域・学校の協働による子どもの健全な育成(85.0%)」,「取組15:着実な学力向上と希望する進路の実現(83.9%)」,「取組19:安心できる地域医療の充実(91.1%)」,「取組21:高齢者が元気に安心して暮らせる環境づくり(83.4%)」の5つの取組で8割を超える高い数値を示しています。

ここで、『課題⑥:子どもを生み育てやすい環境づくり』を構成する2取組のいずれも高重視群が8割を大きく超えていることから、育児支援・教育等に関する県民の意識の高さがうかがえます。

一方、高重視群が6割を下回った取組は、「取組23:生涯学習社会の確立とスポーツ・文化芸術の振興(51.7%)」,「取組26:外国人も活躍できる地域づくり(44.0%)」となっています。

また、14取組中3取組で「わからない」とする回答が2割を超えています。(図2-1-1)

○属性別の高重視群について、県全体の傾向との差異を見ると、【県全体】では「取組19」が最も高くなっているのに対し、【仙南圏域】【仙台圏域】【登米圏域】では「取組13」が最も高くなっています。(表2-1)

【満足度】

○県全体の満足度を見ると、14取組中7取組で満足群(「満足」,「やや満足」と回答した者の割合)が4割を超えています。

一方、満足群が3割を下回った取組は、「取組24:コンパクトで機能的なまちづくりと地域生活の充実(27.7%)」,「取組26(25.6%)」となっています。

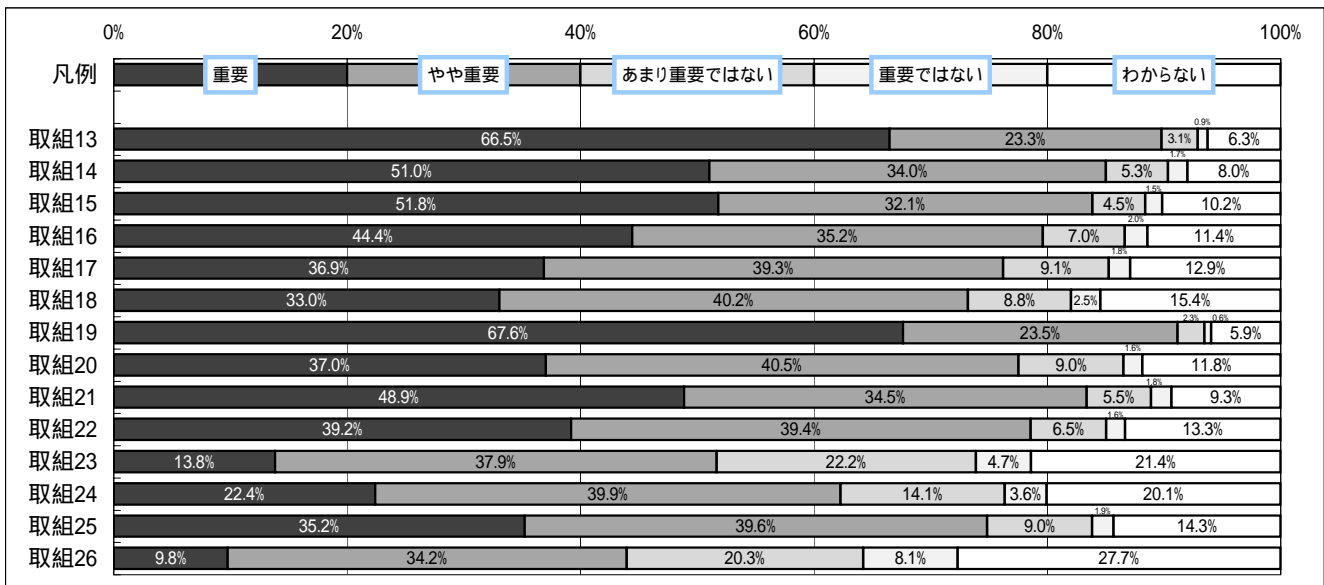
また、14取組中2取組で「わからない」とする回答が4割を超えており、このうち「取組26」については、その割合が5割を超えています。(図2-2-1)

○属性別の満足群について、県全体の傾向との差異を見ると、【県全体】では「取組14」が最も高くなっているのに対し、【65歳以上】【気仙沼・本吉圏域】では「取組21」が最も高くなっています。(表2-2)



【 2 - 1 】 重視度割合データ (安心と活力に満ちた地域社会づくり < 取組13～26 >)

< 図2-1-1 重視度割合 (全回答) >



本図は、全回答(「重要」、「やや重要」、「あまり重要ではない」、「重要ではない」、「わからない」)について、それぞれの割合を表示したものです。

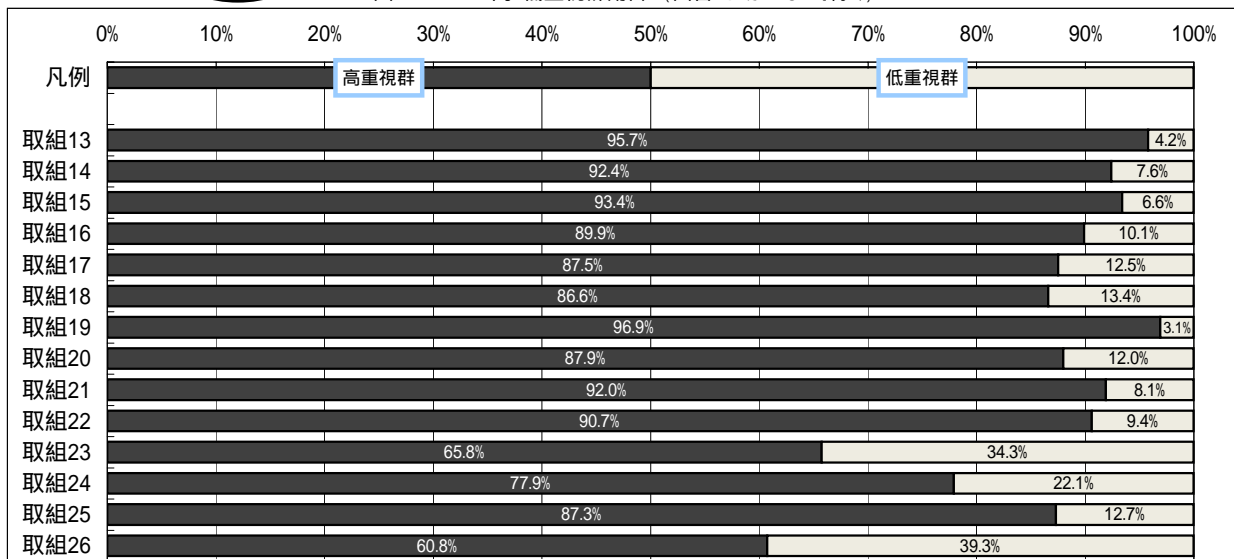
< 表2-1 高重視群一覧 (回答者属性別) >

	県全体	性別		年齢別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組13	89.8%	88.8%	91.0%	91.1%	87.6%	90.1%	92.4%	92.8%	87.3%	92.0%	89.2%	88.8%
取組14	85.0%	82.9%	86.9%	85.4%	84.1%	85.4%	85.2%	87.4%	80.3%	86.1%	85.6%	85.6%
取組15	83.9%	82.9%	84.8%	83.3%	85.1%	81.0%	88.0%	88.5%	80.3%	81.5%	86.2%	85.6%
取組16	79.6%	78.6%	80.9%	79.5%	80.5%	80.5%	82.3%	80.6%	77.4%	78.4%	82.1%	80.6%
取組17	76.2%	75.4%	77.1%	76.0%	77.0%	76.9%	80.3%	75.3%	74.4%	76.8%	76.9%	78.2%
取組18	73.2%	74.0%	73.3%	74.3%	72.0%	72.8%	75.9%	74.5%	74.0%	71.3%	72.7%	74.5%
取組19	91.1%	91.3%	91.4%	91.8%	90.6%	88.9%	91.2%	93.6%	89.8%	91.6%	92.3%	93.2%
取組20	77.5%	74.9%	80.4%	77.3%	79.1%	77.9%	84.5%	79.2%	74.1%	77.2%	79.6%	75.1%
取組21	83.4%	82.1%	84.8%	81.6%	87.7%	84.7%	86.0%	78.2%	80.8%	85.9%	84.0%	85.0%
取組22	78.6%	78.2%	79.4%	77.8%	81.1%	77.7%	78.4%	75.9%	74.0%	81.6%	81.5%	83.5%
取組23	51.7%	51.4%	52.2%	50.3%	55.9%	51.0%	56.3%	49.6%	52.7%	50.2%	48.7%	55.7%
取組24	62.3%	64.3%	60.6%	60.8%	66.4%	65.4%	60.9%	62.3%	53.8%	61.7%	64.6%	68.3%
取組25	74.8%	76.9%	73.7%	74.7%	76.2%	74.2%	79.1%	73.7%	73.9%	69.3%	77.8%	79.5%
取組26	44.0%	46.2%	42.4%	42.0%	49.4%	47.4%	46.4%	41.9%	37.9%	38.9%	46.9%	50.7%

本表は、全回答に占める高重視群(「重要」、「やや重要」と回答した者)の割合を属性別に表示したものです。

参考

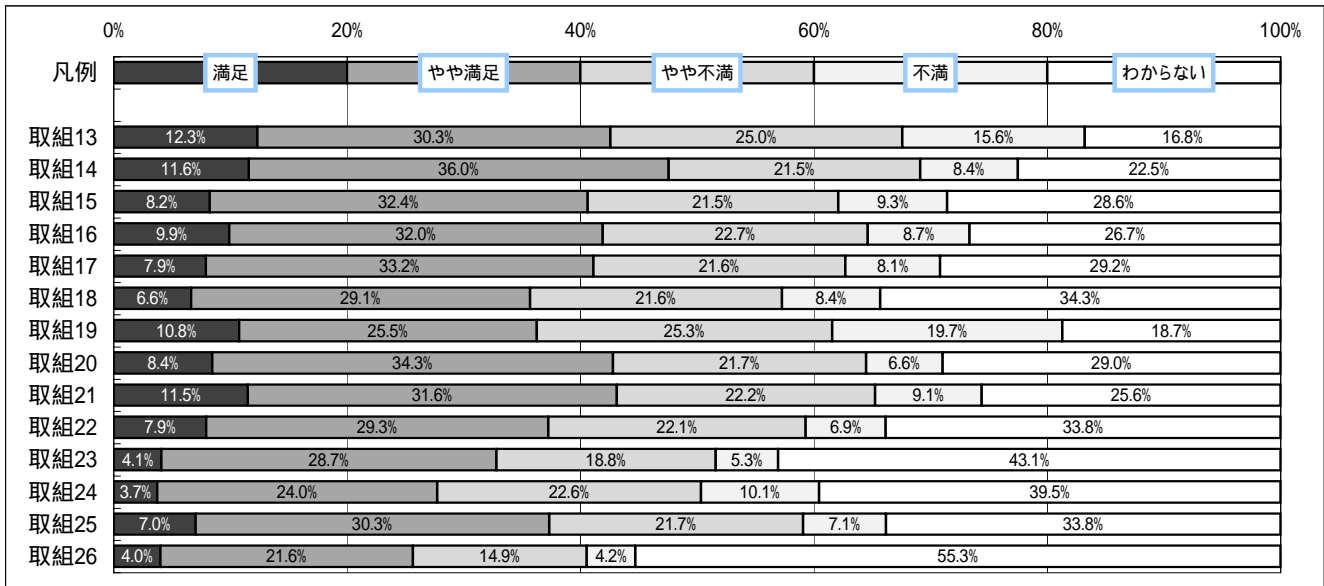
< 図2-1-2 高・低重視群割合 (回答「わからない」除く) >



本図は、全回答から「わからない」を除き、重視度を評価した回答者について高重視群と低重視群(「あまり重要ではない」、「重要ではない」と回答した者)の2つのグループに分類して、その割合を表示したものです。

【2 - 2】 満足度割合データ (安心と活力に満ちた地域社会づくり <取組13~26>)

< 図2 - 2 - 1 満足度割合 (全回答) >



本図は、全回答(「満足」、「やや満足」、「やや不満」、「不満」、「わからない」)について、それぞれの割合を表示したものです。

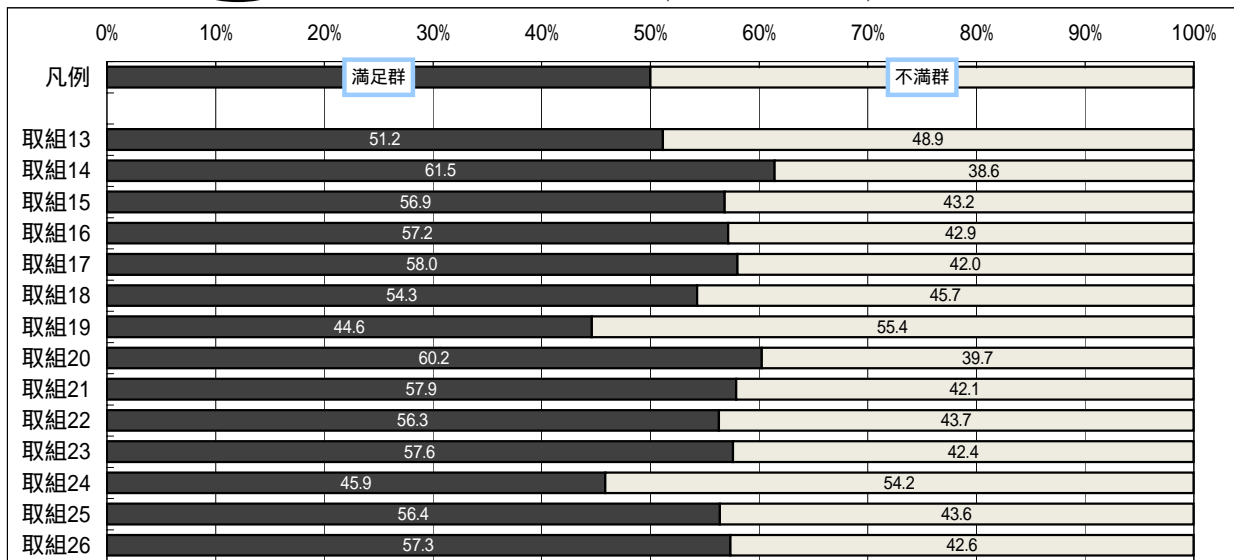
< 表2 - 2 満足群一覧 (回答者属性別) >

	県全体	性別		年齢別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組13	42.6%	39.6%	45.5%	38.8%	51.8%	45.7%	42.4%	45.8%	38.7%	41.7%	45.4%	40.2%
取組14	47.6%	42.3%	52.1%	44.8%	54.3%	46.8%	42.6%	52.5%	46.3%	50.0%	44.7%	48.7%
取組15	40.6%	37.3%	43.8%	36.5%	50.9%	44.0%	41.4%	40.0%	39.9%	41.3%	37.8%	41.2%
取組16	41.9%	40.0%	43.8%	37.3%	52.7%	41.2%	40.3%	44.2%	39.4%	44.5%	38.7%	44.4%
取組17	41.1%	40.2%	41.8%	37.2%	50.2%	42.7%	37.2%	40.7%	39.8%	41.3%	38.9%	48.5%
取組18	35.7%	37.4%	33.9%	32.9%	41.5%	39.6%	36.5%	36.9%	32.6%	34.5%	33.5%	37.7%
取組19	36.3%	35.1%	37.0%	32.1%	45.8%	34.2%	37.0%	43.0%	33.6%	33.4%	35.8%	36.0%
取組20	42.7%	39.2%	46.4%	40.7%	48.4%	41.3%	42.3%	44.3%	40.6%	44.3%	40.4%	48.0%
取組21	43.1%	39.6%	46.3%	36.6%	57.9%	40.5%	36.0%	45.3%	44.5%	44.1%	40.4%	50.6%
取組22	37.2%	34.9%	39.6%	33.3%	47.0%	34.5%	32.8%	41.1%	34.1%	37.5%	38.5%	45.8%
取組23	32.8%	31.6%	33.9%	30.2%	38.9%	32.1%	34.4%	29.5%	34.5%	33.9%	32.1%	33.5%
取組24	27.7%	27.8%	27.2%	24.0%	35.9%	28.4%	30.2%	29.0%	25.2%	27.7%	22.7%	30.0%
取組25	37.3%	37.9%	37.3%	34.7%	44.0%	33.0%	38.3%	37.8%	36.4%	35.1%	38.8%	45.3%
取組26	25.6%	25.1%	26.6%	23.0%	32.2%	27.9%	23.7%	24.9%	23.2%	25.6%	25.4%	30.9%

本表は、全回答に占める満足群(「満足」、「やや満足」と回答した者)の割合を属性別に表示したものです。

参考

< 図2 - 2 - 2 満足・不満群割合 (回答「わからない」除く) >



本図は、全回答から「わからない」の回答を除き、満足度を評価した回答者について満足群(「やや満足」、「満足」と回答した者)と不満群(「やや不満」、「不満」と回答した者)の2つのグループに分類して、その割合を表示したものです。

(3) 人と自然が調和した美しく安全な県土づくり

政策推進の基本方向・課題		取組	
人と自然が調和した 美しく安全な県土づくり	①経済・社会の持続的発展と環境保全の 両立	取組 27	環境に配慮した社会経済システムの構築と地球環境保全への貢献
		取組 28	廃棄物等の3R(発生抑制・再使用・再生利用)と適正処理の推進
	②豊かな自然環境生活環境の保全	取組 29	豊かな自然環境, 生活環境の保全
	③住民参画型の社会資本整備や良好な 景観の形成	取組 30	住民参画型の社会資本整備や良好な景観の形成
	④宮城県沖地震など大規模災害による 被害を最小限にする県土づくり	取組 31	宮城県沖地震に備えた施設整備や情報ネットワークの充実
		取組 32	洪水や土砂災害などの大規模自然災害対策の推進
		取組 33	地域ぐるみの防災体制の充実

調査結果の特徴

【重視度】

○県全体の重視度を見ると、7取組中6取組で高重視群(「重要」, 「やや重要」と回答した者の割合)が7割を超えており、このうち「取組 28: 廃棄物等の3R(発生抑制・再使用・再生利用)と適正処理の推進(84.1%)」, 「取組 31: 宮城県沖地震に備えた施設整備や情報ネットワークの充実(91.0%)」, 「取組 32: 洪水や土砂災害などの大規模自然災害対策の推進(83.7%)」, 「取組 33: 地域ぐるみの防災体制の充実(81.3%)」の4つの取組で8割を超える高い数値を示しています。

ここで、『課題④: 宮城県沖地震など大規模災害による被害を最小限にする県土づくり』を構成する3取組のいずれも高重視群が8割を超えており、宮城県沖地震をはじめとした災害及びその対策等に関する県民の意識の高さがうかがえます。

また、7取組中で「わからない」とする回答が2割を超えているものは、「取組 30: 住民参画型の社会資本整備や良好な景観の形成」です。(図3-1-1)

○属性別の高重視群については、いずれの属性も県全体の傾向との差異はなく、「取組 31」が最も高くなっています。(表3-1)

【満足度】

○県全体の満足度見ると、7取組中5取組で満足群(「満足」, 「やや満足」と回答した者の割合)が4割を超えており、このうち「取組 31(51.6%)」で5割を超える高い数値を示しています。

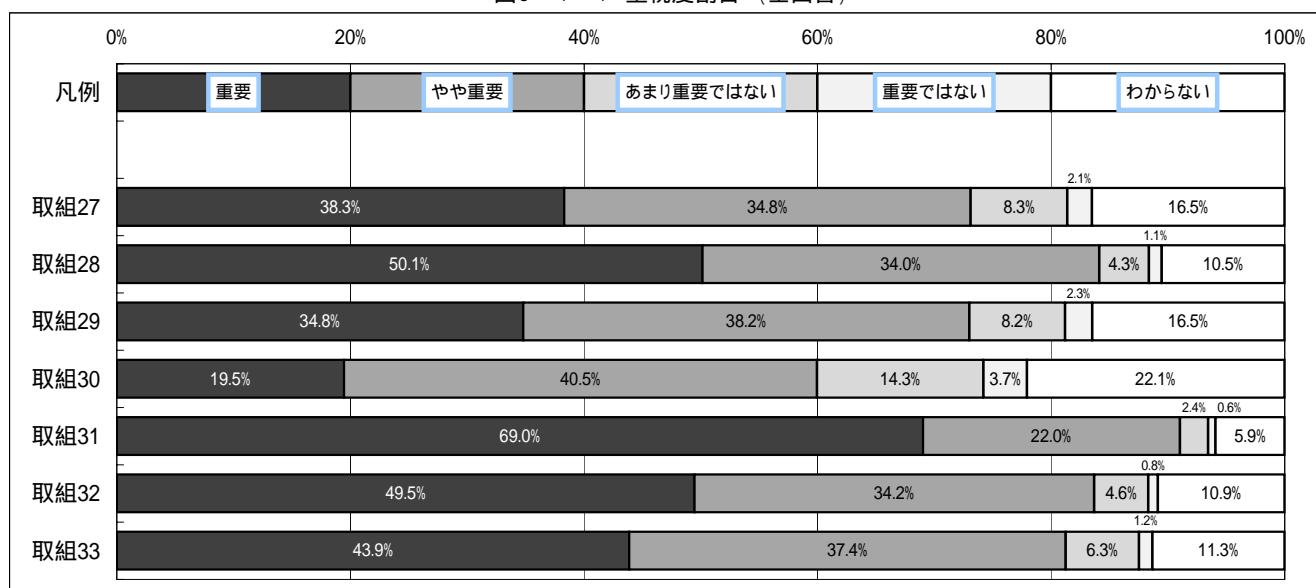
また、7取組中で「わからない」とする回答が4割を超えているものは、「取組 30」です。(図3-2-1)

○属性別の満足群について、県全体の傾向との差異を見ると、【県全体】では「取組 31」が最も高くなっているのに対し、【仙南圏域】では「取組 32」が最も高くなっています。(表3-2)



【3 - 1】 重視度割合データ (人と自然が調和した美しく安全な県土づくり <取組27~33>)

< 図3 - 1 - 1 重視度割合 (全回答) >



本図は、全回答(「重要」、「やや重要」、「あまり重要ではない」、「重要ではない」、「わからない」)について、それぞれの割合を表示したものです。

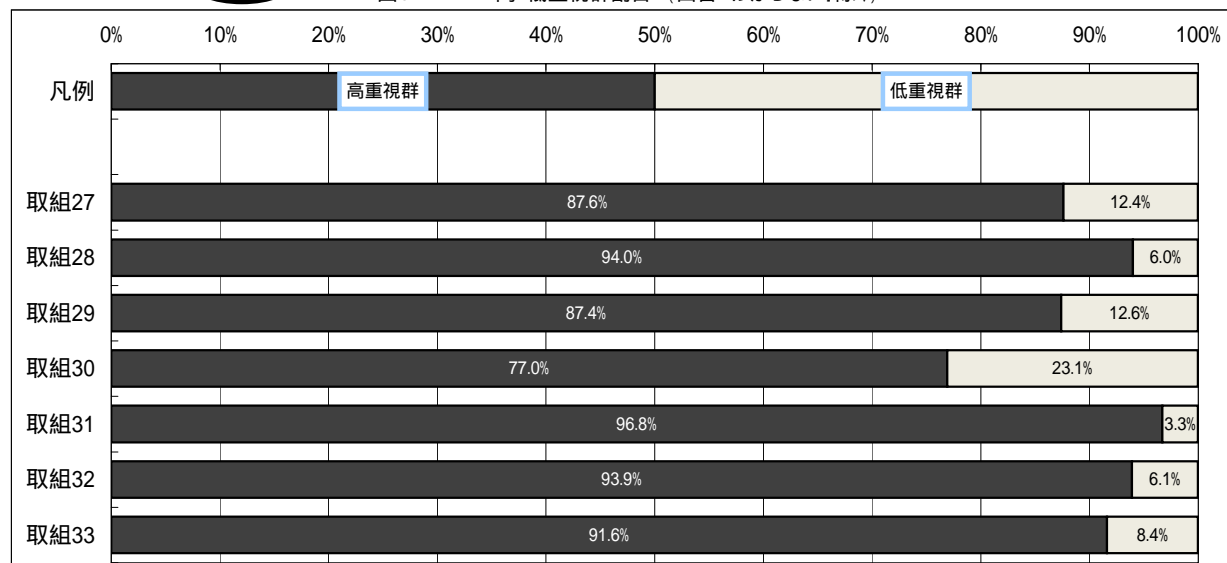
< 表3 - 1 高重視群一覧 (回答者属性別) >

	県全体	性別		年齢別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組27	73.1%	76.3%	70.7%	74.1%	71.8%	73.2%	73.4%	68.6%	70.1%	70.4%	79.3%	79.6%
取組28	84.1%	86.8%	82.1%	85.0%	82.6%	85.3%	87.9%	84.5%	82.9%	80.1%	85.6%	85.1%
取組29	73.0%	74.9%	71.7%	72.0%	75.4%	73.0%	71.8%	67.1%	67.3%	71.2%	79.5%	82.8%
取組30	60.0%	64.3%	56.4%	56.7%	67.9%	62.7%	54.9%	57.3%	58.5%	64.4%	56.3%	66.8%
取組31	91.0%	92.1%	90.6%	91.8%	90.0%	90.5%	92.7%	90.8%	87.3%	91.8%	92.8%	94.4%
取組32	83.7%	86.9%	81.7%	82.8%	87.9%	84.9%	79.6%	83.7%	82.6%	84.3%	85.9%	89.2%
取組33	81.3%	82.7%	80.8%	81.4%	83.0%	79.8%	81.0%	79.2%	81.0%	82.4%	81.0%	88.2%

本表は、全回答に占める高重視群(「重要」、「やや重要」と回答した者)の割合を属性別に表示したものです。

参考

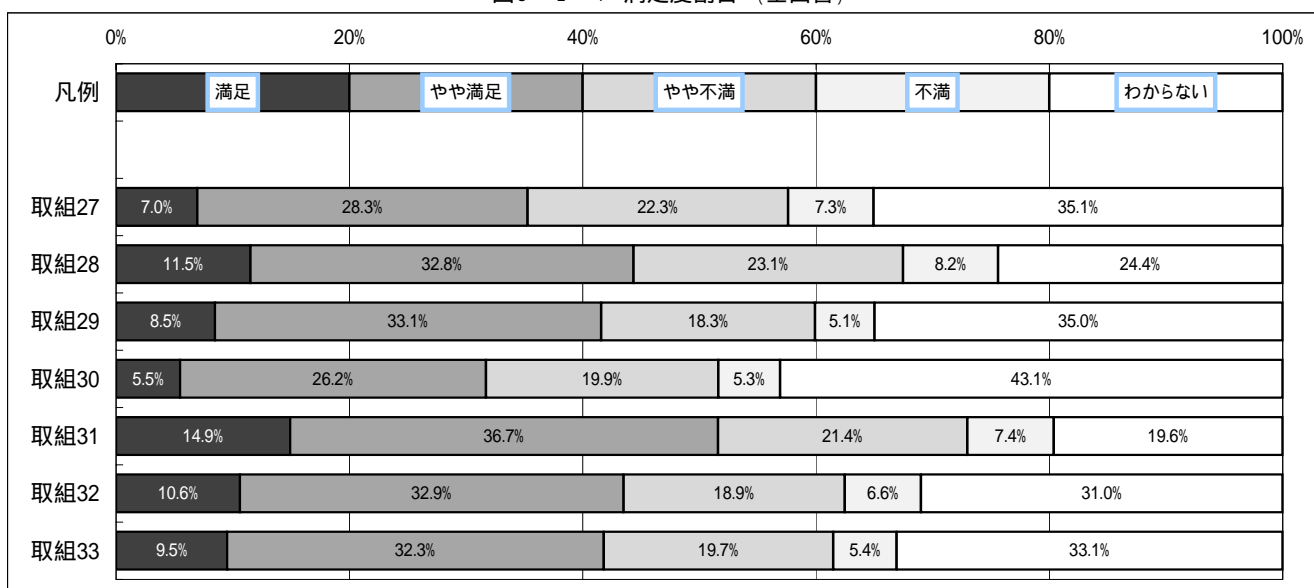
< 図3 - 1 - 2 高・低重視群割合 (回答「わからない」除く) >



本図は、全回答から「わからない」を除き、重視度を評価した回答者について高重視群と低重視群(「あまり重要ではない」、「重要ではない」と回答した者)の2つのグループに分類して、その割合を表示したものです。

【3 - 2】 満足度割合データ (人と自然が調和した美しく安全な県土づくり <取組27~33>)

< 図3 - 2 - 1 満足度割合 (全回答) >



本図は、全回答(「満足」、「やや満足」、「やや不満」、「不満」、「わからない」)について、それぞれの割合を表示したものです。

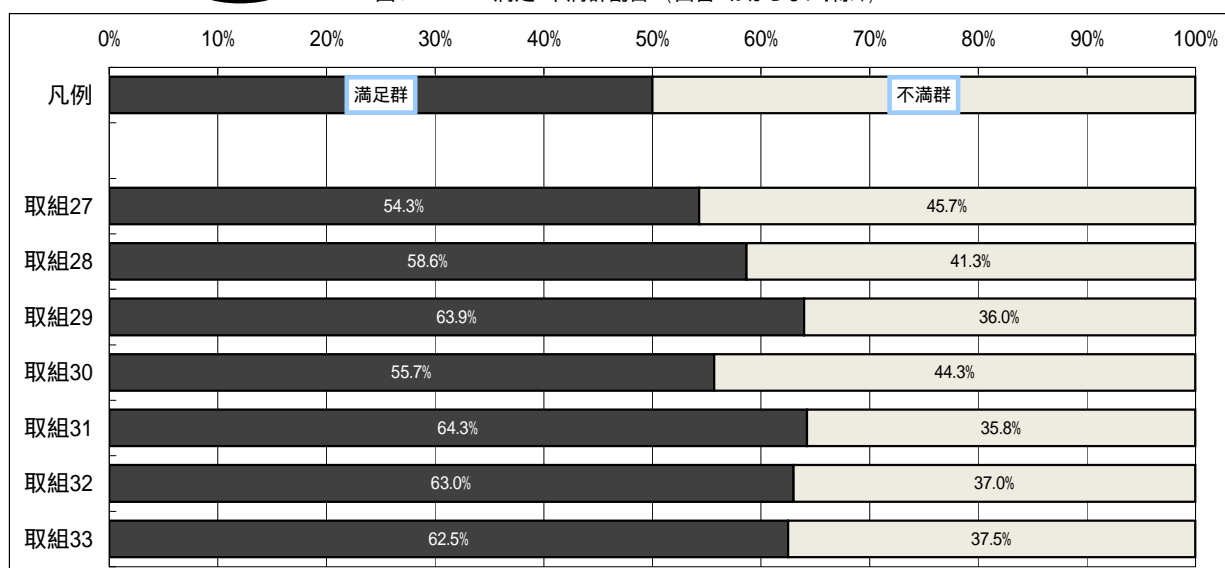
< 表3 - 2 満足群一覧 (回答者属性別) >

	県全体	性別		年齢別		圏域別						
		男性	女性	65歳未満	65歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組27	35.3%	35.3%	35.1%	32.6%	41.5%	36.1%	32.1%	35.1%	33.9%	34.2%	34.8%	41.3%
取組28	44.3%	45.4%	43.3%	40.6%	53.2%	40.5%	41.2%	46.5%	41.9%	47.4%	42.6%	50.0%
取組29	41.6%	40.8%	42.4%	38.0%	50.0%	39.8%	42.7%	38.3%	37.0%	40.4%	43.4%	50.9%
取組30	31.7%	31.9%	31.9%	27.5%	41.6%	32.2%	24.7%	31.8%	31.7%	32.0%	32.2%	37.1%
取組31	51.6%	52.6%	50.9%	48.7%	58.4%	43.6%	50.5%	53.5%	48.5%	52.4%	53.1%	59.8%
取組32	43.5%	45.0%	42.6%	40.4%	51.9%	43.8%	39.2%	42.3%	44.3%	44.2%	46.6%	46.4%
取組33	41.8%	41.2%	42.4%	38.2%	50.4%	42.5%	38.7%	38.5%	41.5%	44.2%	39.5%	49.1%

本表は、全回答に占める満足群(「満足」、「やや満足」と回答した者)の割合を属性別に表示したものです。

参考

< 図3 - 2 - 2 満足・不満群割合 (回答「わからない」除く) >



本図は、全回答から「わからない」の回答を除き、満足度を評価した回答者について満足群と不満群(「やや不満」、「不満」と回答した者)の2つのグループに分類して、その割合を表示したものです。

(4) 各取組における優先すべき項目調査結果

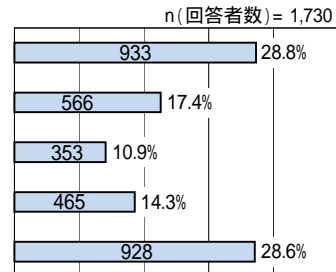
県が今後優先して行うべきと思う項目を取組ごとに調査したところ、次のような結果となりました。(複数回答)

【1. 富県宮城の実現～県内総生産10兆円への挑戦～】

育成・誘致による県内製造業の集積促進

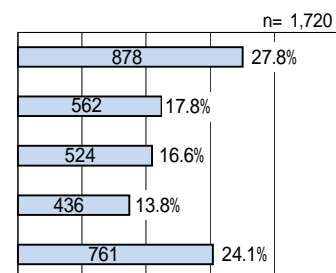
取組1 地域経済を力強くけん引するものづくり産業(製造業)の振興

- ア みやぎ産業振興機構などの産業支援機関と連携して行う、県内製造業の技術力、営業力、販売力などの強化への支援
- イ 自動車関連産業を活発にするための下地となる県内製造業の技術力の向上や設備投資への支援や隣接県の試験研究機関との連携による技術開発への支援
- ウ 岩手・山形県等と連携して関東・東海圏域で商談会を開催するなど、受注機会の拡大促進
- エ 光関連産業や生活福祉関連産業など市場拡大が期待される分野での、技術開発や製品開発への取組支援
- オ 半導体関連産業など経済波及効果の高い業種や、雇用の増加につながる業種などを中心とした、地域経済の核となる企業の誘致促進



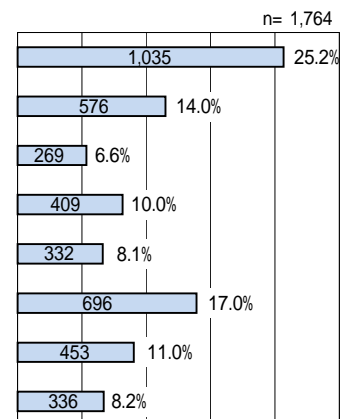
取組2 産学官の連携による高度技術産業の集積促進

- ア 高度技術を活用した産業を作り出したいと考える企業と大学などの人材や技術の相互交流、共同研究、ネットワークづくり
- イ 大学や県内企業などによるプロジェクトに、国からの大規模な資金を使えるようにするための支援
- ウ 知的財産・未利用特許を持つ県内企業や大学などと、それを使った開発を行える企業の仲介や、そのような技術を利用して行う新製品の開発支援
- エ これから整備される東北大学サイエンスパークなどでの産業界と大学が連携した研究成果を活用した新製品の開発支援
- オ 独自技術を持つ企業の共同研究や、医学と工学が分野を超えて行う研究などによる新製品開発への支援



取組3 豊かな農林水産資源と結びついた食品製造業の振興

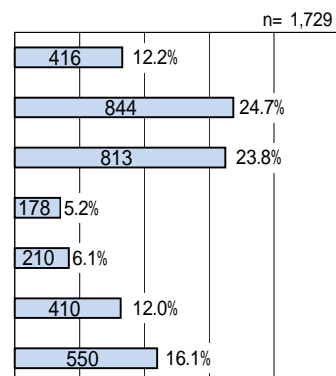
- ア 高齢化社会や健康志向などを踏まえて行う、消費者が求める商品づくり
- イ 新たな加工食品などの開発を、農林水産業、食品製造業者等が協力しながら行う体制づくりへの支援
- ウ 県内での取引を活発にするための、企業間の取引などの仲介
- エ 商品開発力や販売力を強化するための食品製造業の経営革新
- オ 産学官の連携や地域の食文化を生かした新商品開発
- カ 販売競争を有利に進めるための県産食品のイメージアップ
- キ 県や関係機関が協力して行う大規模商談会や、首都圏などで開催される国際規模の商談会での、県産食品の取引拡大に向けた支援
- ク 首都圏などでの市場調査や、企業間の販売や取引の仲介の支援



観光資源・知的資産を活用した商業・サービス産業の強化

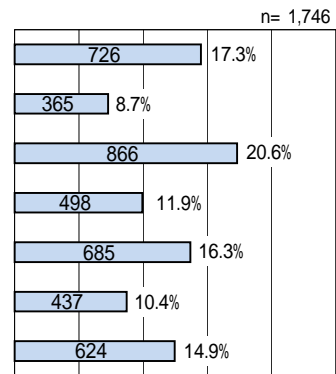
取組4 高付加価値型サービス産業・情報産業及び地域商業の振興

- ア 地域経済を活性化させる新たな事業モデルづくりや、世界規模での商取引や流通の合理化など、経済構造の変化に対応した新たな事業展開に対するアドバイス機能の充実
- イ 地域の住民が主体となって地域の課題解決に取り組み、それにより地域を活性化するコミュニティビジネスのような、地域や生活に密着したサービス業を行う場合の支援
- ウ 地域住民や公共サービスと連携した地域商業の活性化支援
- エ コールセンターなどの企業(サービス業)の誘致促進
- オ 情報関連技術者の養成と、企業が経営革新する場合の情報関連技術の積極的活用
- カ 情報関連産業で活躍できる高度な技術を持つ人材の育成支援
- キ 健康福祉分野や家電製品の組込みソフトなど、成長が期待される分野での市場占有率獲得を目指した技術習得、人材交流、商品開発などへの支援



取組5 地域が潤う、訪れてよしの観光王国みやぎの実現

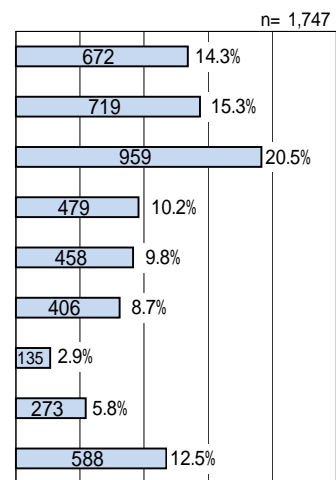
- ア 「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン（全国に向けて集中的に行う大型観光キャンペーン）」など催し物や行事を活用した積極的な観光客誘致
- イ インターネットや広報媒体などを活用した効果的な情報発信や団塊の世代などのを絞った集客活動
- ウ 地域一体となった「もてなしの心」向上のための取組強化や、だれもが安全安心に観光できる環境づくり
- エ 観光施設及び案内板・標識の整備、バリアフリー・ユニバーサルデザインの普及
- オ 温泉や食材、プロスポーツなど宮城独自の資源を生かした体験・滞在型観光の発掘・整備
- カ 自然環境や伝統文化などを活用したグリーン・ツーリズム及びエコ・ツーリズム推進体制づくり
- キ 東北各県や関係機関との連携による観光ルートの設定など観光推進組織の強化



地域経済を支える農林水産業の競争力強化

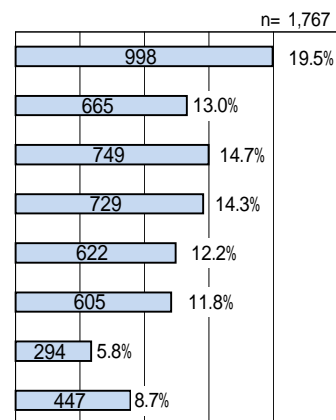
取組6 競争力ある農林水産業への転換

- ア 消費者の視点に立って商品を生産していく農林水産業への転換支援
- イ 「食材王国みやぎ」を支える県産農林水産物のブランド化
- ウ 安全安心な農林水産物の生産と安定供給体制の確立支援
- エ 農業者が生産から流通・加工・販売などを一体で行うアグリビジネスなど企業の経営の促進
- オ 水産資源の適切な保全と管理、養殖や増殖の推進及び生育環境の保全と改善
- カ 計画的な森林づくりから木材流通までの生産経費の低減、良質な製材品の生産の促進
- キ 農林水産業と流通加工業等との取引の仲介支援
- ク 東アジア市場など海外にも目を向けた、県産食品の輸出促進
- ケ 農林水産業の経営力や技術力の向上と、効率的な生産を支える基盤づくり



取組7 地産地消や食育を通じた需要の創出と食の安全安心の確保

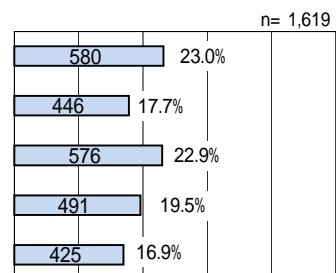
- ア 安全安心な食品の安定供給のための、環境保全型農業を実施する農業者の育成や食品の衛生管理体制の確立
- イ 生産者・事業者と消費者の間での食材や食品についての情報共有による相互理解など、安全安心についての信頼関係づくり
- ウ 行政、生産者、事業者、消費者などが連携して行う食の安全安心を支える体制づくり
- エ 地産地消につながる県産食材の学校給食への利用促進
- オ 地元食材を県内で消費できる各地域での仕組みづくりや直売施設の活用・支援
- カ 宮城の豊かな「食」を生かした食育の推進
- キ 県産食材の再認識・再発見を促す情報や機会の提供と県内供給力の向上
- ク 県産木材を積極的に使うことが森を育てることにつながる「みやぎの木づかい運動」の推進や、県産木材の利用技術の開発支援、「優良みやぎ材」の利用促進



アジアに開かれた広域経済圏の形成

取組8 県内企業のグローバルビジネスの推進と外資系企業の立地促進

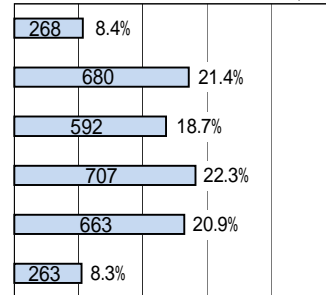
- ア 県の海外事務所や関係機関が連携し、海外展開を目指す県内企業の国際的経済活動への総合的な支援体制づくり
- イ 海外との取引拡大に向けた市場調査、海外取引事務や知的財産保護対策等の専門知識の提供、アドバイスや取引仲介機能など支援体制の強化
- ウ 県産品の販売先開拓や原材料調達のための商談会開催など、海外との取引機会の拡大支援
- エ 産学共同を推し進めている東北大学と協力するなど、みやぎの優位性を生かした外資系企業・研究機関の立地促進
- オ 東アジア諸国や今後の成長が期待されるロシア極東地域をはじめとする近隣諸国との経済交流の促進



取組 9 自律的に発展できる経済システム構築に向けた広域経済圏の形成

n= 1,678

- ア 山形県との連携に関する基本構想の具体化と連携促進
- イ 自動車関連産業や情報関連産業分野での、岩手・山形両県をはじめとする東北各県との連携促進
- ウ 県境を越えた企業、研究機関の間での役割分担や協体制づくりによる、東北地方への産業集積の支援
- エ 三陸縦貫自動車道をはじめとする、広域的な経済活動を支える交通・情報などのネットワークづくり
- オ 東北各県との連携による広域観光ルートの設定など、観光推進組織づくり
- カ 隣接県と連携した国内外拠点事務所の共同運営や、企業の海外進出を支援する体制づくり

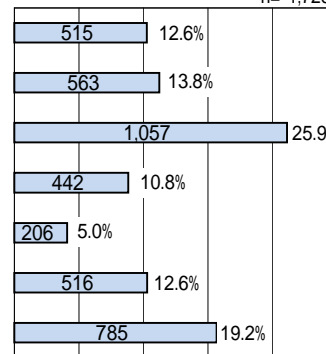


産業競争力の強化に向けた条件整備

取組 10 産業活動の基礎となる人材の育成・確保

n= 1,726

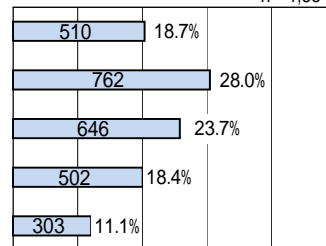
- ア 社会情勢の変化や国際化に対応し、事業のチャンスをつかえ、県経済をリードする次代のリーダーや起業家的人材の育成・定着
- イ 企業での実習と学校での座学を並行して行うなど、学校と地域企業が一体となった産業人材の育成
- ウ 働く意欲のある女性や高齢者の、個々の能力や実績に応じた就業・雇用環境づくりや能力開発
- エ 宮城県の基幹産業である製造業の発展を担うものづくり人材の育成体制づくり
- オ 県内大学等への留学生など高度な専門知識や技術力を持つ外国人の、卒業後の県内企業や研究機関への就業
- カ まちづくりと連携した、地域の活性化につながる商店街づくりを行いつつ、安定した経営ができる人材の育成
- キ 社会情勢の変化に対応しながら、次代の農林水産業を担う人材・後継者の育成確保



取組 11 経営力の向上と経営基盤の強化

n= 1,664

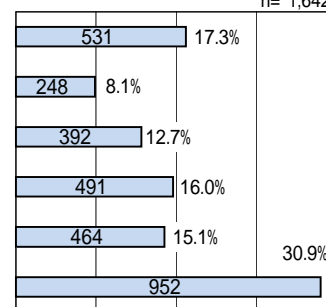
- ア 起業家の育成や事業計画の作成支援など、産業支援機関等と連携したさまざまな経営支援体制の充実
- イ 農林水産業の経営の基礎を固めるための支援と、社会情勢に応じた経営のできる人材育成
- ウ 社会情勢に的確に対応できる経営体の育成のため、商工会議所、農業協同組合など産業ごとの関連団体と連携して行行情報提供や相談機能強化
- エ 自動車関連産業や食品関連産業など、成長が見込まれ経済の中核をなす業種を、重点的に支援するための制度融資の充実
- オ ファンドや証券化の手法を活用した資金供給、企業の成長性を評価する融資制度づくりなど、中小企業にとっても利用しやすいさまざまな資金調達手段の整備



取組 12 宮城の飛躍を支える産業基盤の整備

n= 1,642

- ア 貨物量の増加や船舶の大型化に対応した岸壁やふ頭用地の造成など、港湾機能拡充のための施設整備
- イ 港湾貨物の需要開拓及び新規航路開設に向けた誘致活動（ポートセールス）の強化
- ウ 仙台港背後地の整備など港周辺地域の貿易関連機能や流通・工業機能の整備促進
- エ 仙台空港の航空路線の維持・増便と新規路線の開設、空港利用促進活動の強化
- オ 仙台空港アクセス鉄道沿線の臨空都市整備など、産業経済拠点づくりに向けた流通・商業機能の整備促進
- カ 三陸縦貫自動車道など高速道路網及び広域ネットワークづくりに向けた道路網の整備促進



【 2 . 安心と活力に満ちた地域社会づくり】

子どもを生き育てやすい環境づくり

取組 1 3 次代を担う子どもを安心して生き育てることができる環境づくり

ア 市町村・企業・NPOなどと連携・協働して行う総合的な少子化対策

イ 育児休業取得の促進や職場復帰しやすい環境づくりなど、職場における仕事と子育ての両立支援対策

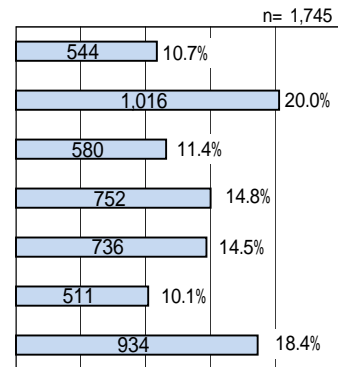
ウ さまざまな需要に応じた保育サービスの充実

エ 子育て中の親の交流の場を設けたり、放課後の児童の居場所を作るなど、それぞれの地域に合わせた子育て支援の充実

オ 不登校や引きこもりなど悩みを抱える子どもや、子育てに不安・問題を抱える親や家族に対する相談・指導の充実

カ 関係機関が連携した虐待防止体制づくりや、発生予防から早期発見・援助など、素早かつ確かな対応

キ 県立こども病院での高度で専門的な医療の提供や、周産期・小児医療体制づくりと小児救急医療体制の充実



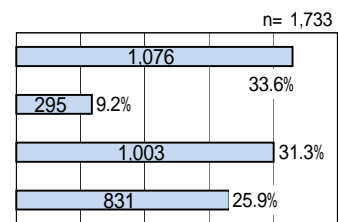
取組 1 4 家庭・地域・学校の協働による子どもの健全な育成

ア 家庭・地域・学校が協働して行う、子どもの基本的な生活習慣や学習習慣の定着に向けた運動

イ 学校とNPOなどそれぞれの地域のさまざまな主体が協働して行う教育活動

ウ 子どもの活動拠点作りや地域で子どもを教えるしくみなど、家庭・地域・学校が協働して地域全体で子どもの教育を進めるための組織づくり

エ 家庭・地域・学校が協働し、多くの住民が進んで参画しながら生み出す、子どものさまざまな学習・体験機会



将来の宮城を担う子どもの教育環境づくり

取組 1 5 着実な学力向上と希望する進路の実現

ア 家庭学習に関する啓発や自習環境の整備など、児童生徒の学習習慣づけの取組

イ 子どもたちの理解が進むような授業ができるよう、教員の教科指導力を上げたり、小学校・中学校・高等学校が連携を強化する取組

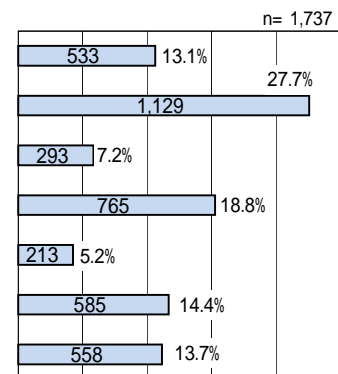
ウ 学習状況調査などによる子どもたちの学力定着状況の把握・分析・公開

エ 子どもたちの進路選択能力を育てるための指導体制の充実と、教員が進路指導するための能力・技能の向上

オ 地域の進学指導等の拠点となる高等学校での取組の充実とその成果の普及

カ 産業界などと連携して行う、子どもたちの発達段階に応じた、一人一人の勤労観・職業観を育てる教育の充実

キ 社会の変化に対応した教育（情報通信技術を活用した教育・国際化に対応した教育・環境教育など）



取組 1 6 豊かな心と健やかな体の育成

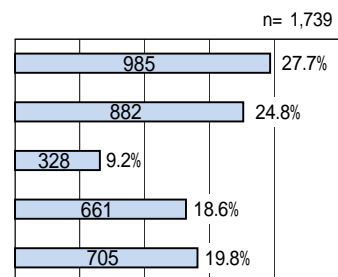
ア さまざまな社会体験や自然体験など、体験活動の充実や学校教育活動全般を通じた心の教育に関する取組

イ 家庭・地域とが連携して行う、基本的生活習慣を身につけることの大切さの普及啓発

ウ みやぎアドベンチャープログラムの活用など、子どもたちの豊かな人間関係づくりのための取組

エ スクールカウンセラー・相談員などの学校への配置、専門家・関係機関とが連携して行う教育相談体制の充実と不登校児童生徒への支援

オ 小学校・中学校・高等学校までの体力・運動能力調査の継続的な実施など、子どもの体力・運動能力向上のための取組



取組 1 7 児童生徒や地域のニーズに応じた特色ある教育環境づくり

ア 少人数学級や少人数指導など、子どもたちの実情に応じたきめ細かな教育活動の充実

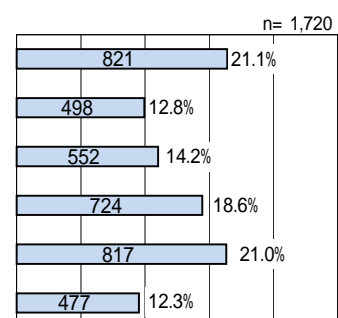
イ 学校の再・改編や入学者選抜制度改善などによる、時代の要求や教育環境の変化、生徒の多様化・個性化などに応じた魅力ある高校づくり

ウ 学校の自主性・主体性を生かした学校運営への支援や学校評価の充実などによる地域から信頼される学校づくり

エ 障害のある子どもも障害のない子どもも、地域の小・中学校で共に学ぶことのできる学習環境づくり

オ 優秀な教員の確保と、教員の資質向上・学校活性化のための適切な教員評価や教育研修の充実

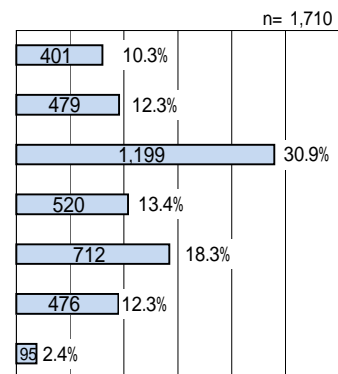
カ 学校の耐震化など、安全で快適な教育施設づくり



生涯現役で安心して暮らせる社会の構築

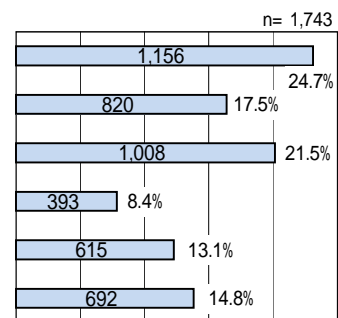
取組 18 多様な就業機会や就業環境の創出

- ア 就業形態の変化に応じた、産学官の各種機関が行うさまざまな就業能力開発の機会の提供
- イ 関係機関と連携して行う、非自発的離職者の再挑戦に向けた就業支援
- ウ 働く意欲のある女性や高齢者の、それぞれの経験や能力に応じた就業・雇用環境づくりや能力開発
- エ 相談体制の充実や職業選択機会の提供など、若年者に対する総合的な就業環境づくり
- オ 働く意欲のある障害者等の就職活動を支える能力開発の場の確保や相談・指導体制の充実
- カ 障害者雇用率制度など、障害者も含めた様々な就業環境づくりのための事業者への啓発
- キ 外国人の雇用機会の確保に必要なとなる指導・助言



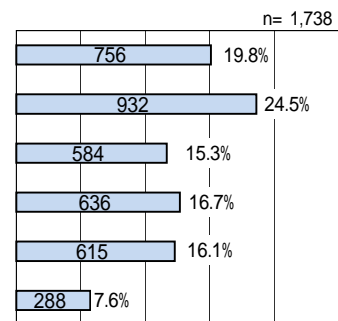
取組 19 安心できる地域医療の充実

- ア 全国から県内の自治体病院での勤務を希望する医師を募集・配置するなど、地域医療を充実させるための医師確保
- イ 県内の各地域ごとの拠点となる病院の整備への支援と、各地域の病院、診療所間の連携・機能分担の促進
- ウ 救急医療を担う人材の育成・確保と、救急医療情報システムの活用により各地域内で救急医療を完結できる体制づくり
- エ 総合的なりハビリテーションが提供できる体制づくりと、県リハビリテーション支援センターの充実
- オ より高度で専門的ながん医療提供のため、県立がんセンターなどがん診療の拠点となる病院の機能強化や在宅緩和ケアの体制づくりなど、総合的ながん対策
- カ 看護職員の確実な確保とその資質向上のために必要となる養成施設などへの支援



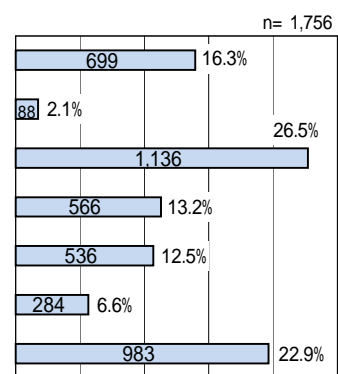
取組 20 生涯を豊かに暮らすための健康づくり

- ア 「みやぎ21健康プラン」にもとづく、バランスの取れた食生活・食習慣の実現や運動習慣の普及・定着など、県民の健康づくり
- イ がん予防のための普及啓発、マンモグラフィ検診など効果的で質の高いがん検診の普及
- ウ 地域や学校、家庭、職場などが連携・協力して行う、宮城の特性を生かした総合的な食育
- エ 保健所や衛生研究所、医療機関などが連携した防疫、医療提供、情報提供などの体制づくりと、感染症集団発生に備えた隣県等を含めた広域的な連携体制づくり
- オ 乳幼児期から高齢期まで、一人ひとりの人生の段階に応じた心の健康づくりのための相談、指導体制づくり
- カ 乳幼児に対するフッ化物の活用の推進やそれぞれの年代や地域の実情に応じた歯科保健体制づくり

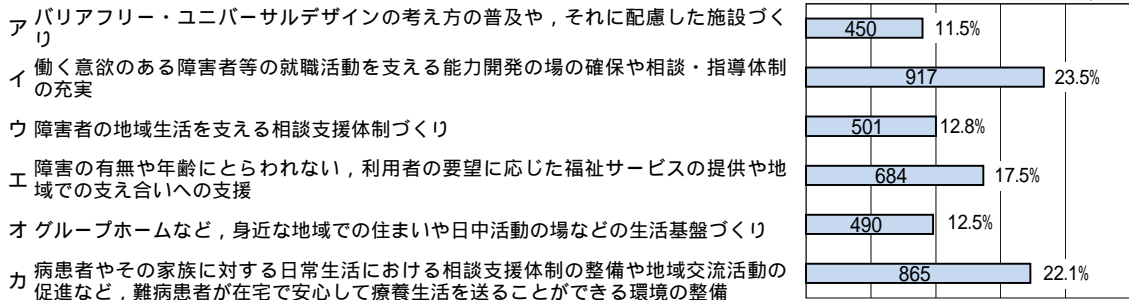


取組 21 高齢者が元気に安心して暮らせる環境づくり

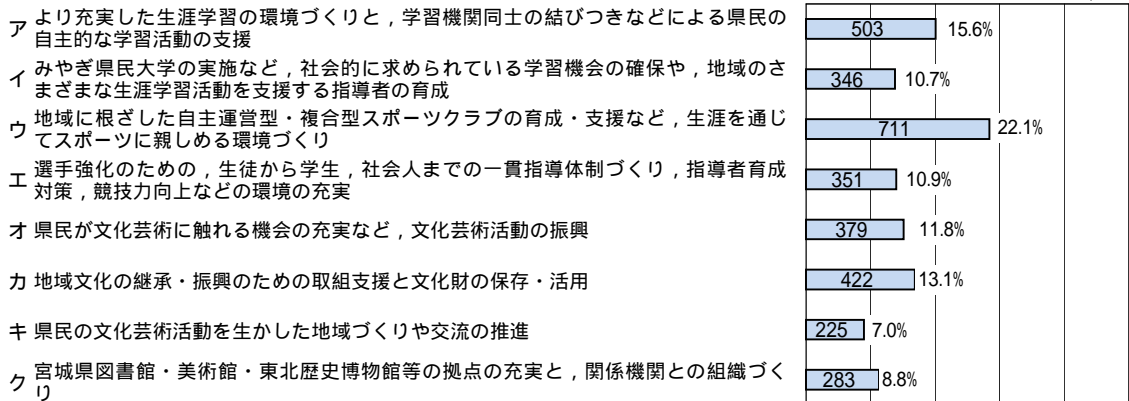
- ア 高齢者の知識や経験を生かした地域活動への参加促進と、地域活動で中心となって活躍する人材の養成・確保
- イ 仙台市との共催で行う「ねんりんピック（全国健康福祉祭）」
- ウ 介護が必要になっても、住み慣れた地域で安心した生活を送るための基盤づくりや地域で共に助け合い支え合うしくみづくり
- エ 専門的知識を持ちながら、介護サービス利用者の立場に立ったサービスを提供できる質の高い人材の養成・確保
- オ 介護予防サービスの提供や、自立した生活を送るための介護予防ケアマネジメント体制づくり
- カ 高齢者などの権利をまもるための体制づくりと県民意識の啓発
- キ 認知症への正しい理解の促進や、かかりつけ医等による認知症の早期発見・早期対応の体制づくりなど、認知症高齢者やその介護家族を支える総合的な支援



取組 2 2 障害があっても安心して生活できる地域社会の実現

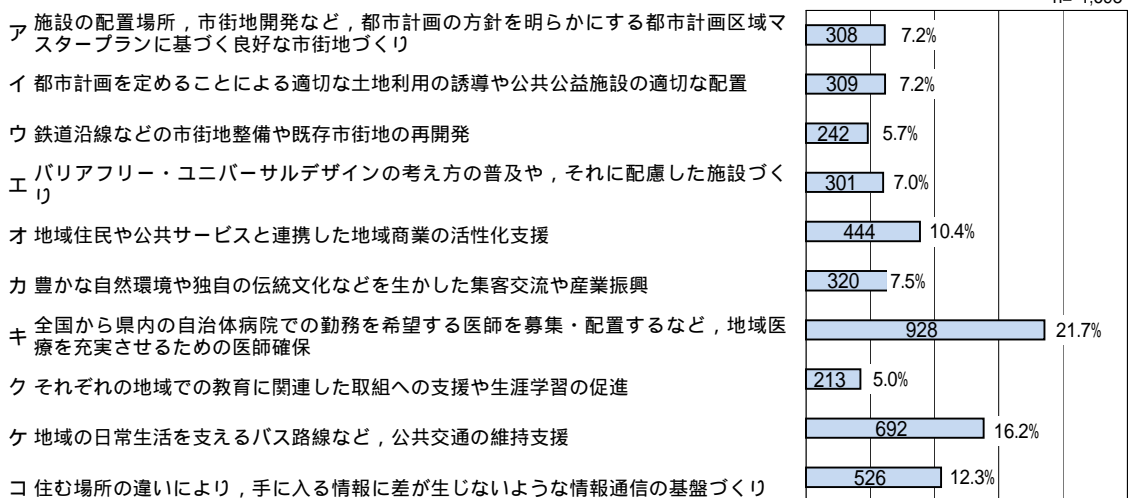


取組 2 3 生涯学習社会の確立とスポーツ・文化芸術の振興



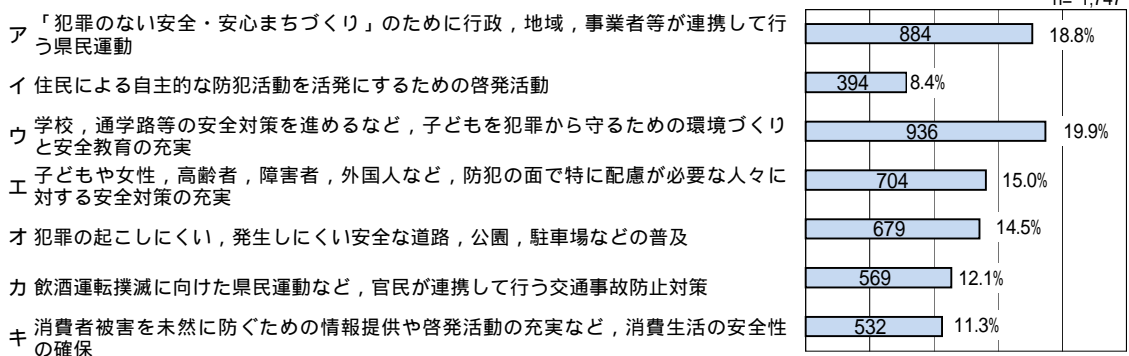
コンパクトで機能的なまちづくりと地域生活の充実

取組 2 4 コンパクトで機能的なまちづくりと地域生活の充実



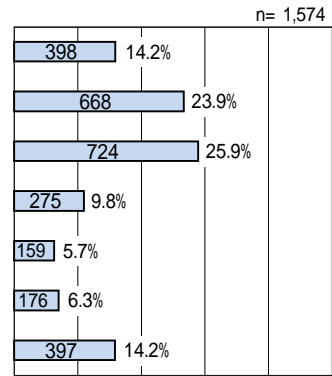
だれもが安全に、尊重し合いながら暮らせる環境づくり

取組 2 5 安全で安心なまちづくり



取組 2 6 外国人も活躍できる地域づくり

- ア 多文化共生を進めるための条例・推進プランづくりや、国際交流協会など関係団体と連携した推進体制づくり
- イ 情報を多言語で発信したり日本語学習を支援するなど、外国人が地域の中でコミュニケーションを取りやすくするための支援
- ウ 保健・医療・福祉、防災、労働環境、教育、居住など、外国人の基本的な生活面への支援
- エ 地域社会への意識啓発や外国人の社会参画など、多文化共生の地域づくりへの支援
- オ イタリア・ローマ県など友好地域との交流など、県民・民間団体が主体となった国際交流の促進・支援
- カ 県内でJETプログラムや海外技術研修などを経験し、母国へ戻った外国人を通じた、国際化を進めるためのネットワークづくり
- キ 県内大学への留学生をはじめとする、高度な専門知識や技術力を持つ外国人の卒業後の県内企業や研究機関への就業促進

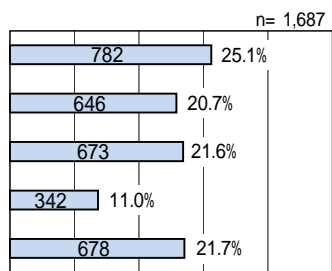


【 3 . 人と自然が調和した美しく安全な県土づくり】

経済・社会の持続的発展と環境保全の両立

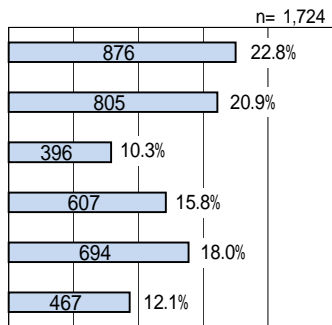
取組 2 7 環境に配慮した社会経済システムの構築と地球環境保全への貢献

- ア 環境に関する情報の発信と、家庭、学校、地域社会や職場などで環境について学ぶ機会の充実
- イ グリーン購入やエコドライブなど、社会で活動するものすべてが、日常的に、当たり前前に環境に配慮して行動できるようにするための普及啓発の促進
- ウ バイオマスエネルギーなど我が県の地域特性を生かした自然エネルギーの地産地消や、県民や事業者が一体となった省エネルギー活動などの地球温暖化対策の推進
- エ 県が事業を行う場合の物品購入や入札で、環境に配慮した活動を行う企業や製品を優遇するなどの率先行動の実施
- オ 環境新技術の開発支援や、自然環境の保全や水源かん養など農林産業の多面的機能に注目した取組支援など、環境に配慮した産業活動の支援



取組 2 8 廃棄物等の 3 R（発生抑制・再使用・再生利用）と適正処理の推進

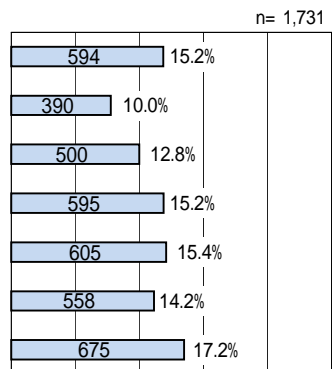
- ア ささまざまな場面での 3 R 活動（ごみを出さない、再使用する、再生利用するなどの取組）を進めるための、県民・事業者・市町村等への啓発活動の充実
- イ 日常生活や事業活動での廃棄物の発生を抑えたり、資源として再利用する取組の促進
- ウ 製品の製造、流通から廃棄までの各段階や、サービスの提供に伴う環境負荷の低減の促進
- エ リサイクル施設の整備など 3 R を支える社会的基盤の充実とリサイクル関連新技術開発の促進
- オ 廃棄物の適正処理を進めるため、廃棄物を出す側の責任意識や県民の理解協力の促進と、不法投棄等不適正処理の根絶に向けた監視指導の強化
- カ 廃棄物処理に関する情報公開を進めることによる透明性の確保と廃棄物処理に必要な施設の維持確保の促進



豊かな自然環境，生活環境の保全

取組 2 9 豊かな自然環境，生活環境の保全

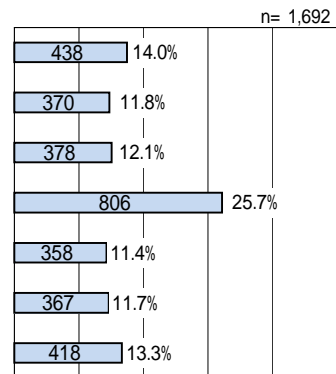
- ア 国定公園やラムサール条約湿地など、宮城の自然環境の保全・再生
- イ 多様な野生生物の保護管理
- ウ 住民と民間団体、事業者、行政などが、自然環境に関する情報を共有できる体制づくり
- エ 豊かな自然環境をまもりながら、自然のもたらすやすらぎと潤いを楽しめるエコ・ツーリズムなど、自然環境の賢明な活用
- オ 身近にあるみどり豊かな空間の保全と、自然環境保全意識の醸成
- カ 上流から下流まで流域全体が協力・連携して行う、各流域の特性を生かした水にまつわる環境の保全
- キ 大気汚染や水質汚濁などの改善に向けた、公害に対する調査研究・技術開発



住民参画型の社会資本整備や良好な景観の形成

取組 3 0 住民参画型の社会資本整備や良好な景観の形成

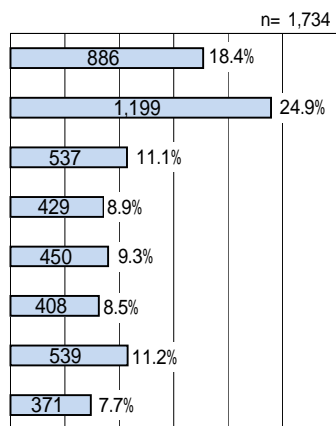
- ア 長期的な視点に立った社会資本の新設・保全・更新のしくみづくり
- イ 社会資本の整備計画づくりや完成後の管理に住民意見を取り入れるための体制づくり
- ウ みやぎスマイルロードプログラムなど、道路や河川清掃などへの住民や企業の参画促進
- エ 地域が協働して行う農地や農業用水などの地域資源の保全活動や、農山漁村のもつ魅力を生かした都市住民との交流や定住の促進
- オ 全県的な景観形成の方向性の提示と市町村の景観形成への支援
- カ 景観に配慮した公共施設づくりと、規制などによる良好な景観づくりへの誘導
- キ みやぎの良好な景観の選定など、良好な景観づくりのための普及啓発



宮城県沖地震など大規模災害による被害を最小限にする県土づくり

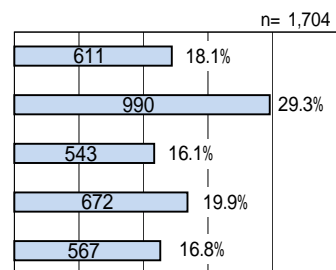
取組 3 1 宮城県沖地震に備えた施設整備や情報ネットワークの充実

- ア 緊急輸送道路に当たる橋、物資輸送のための岸壁、防災拠点施設となる公共建築物の耐震化の促進や防災公園の整備
- イ 電気、ガス、上下水道などの耐震化と、それぞれの管理者との連携強化による震災時の早期復旧体制づくり
- ウ 住宅等の耐震化の促進
- エ 津波被害を防ぐ水門等の施設整備と、市町村や地域と連携した維持管理の充実
- オ 広報・避難誘導態勢の整備や、住民の防災意識の向上を図る津波に備えたまちづくりなどのソフト対策の促進
- カ G P S 波浪計の津波観測や地震計の地震観測など、観測体制の充実
- キ 宮城県総合防災情報システムなどの情報ネットワークの充実
- ク 国、市町村、大学、研究機関が連携して行う地震・津波の調査研究と先端科学技術活用の促進



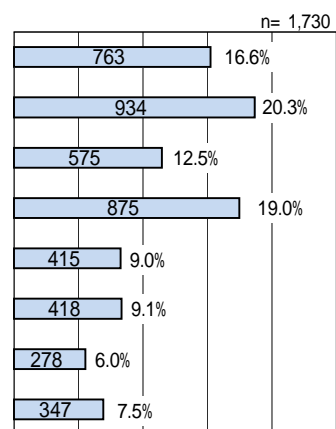
取組 3 2 洪水や土砂災害などの大規模自然災害対策の推進

- ア 宮城県河川流域情報システムなどによる洪水情報提供体制の充実
- イ 洪水被害を防ぐための効果的な河川の整備と堤防・護岸などの維持管理
- ウ 土砂災害を防ぐための砂防ダムなど土砂災害を防止する施設の整備と維持管理
- エ 宮城県砂防総合情報システムなどによる土砂災害情報提供体制の充実と、土砂災害警戒区域の指定などによる市町村と連携した警戒避難体制の整備
- オ 山地災害を防ぎ、水源のかん養、生活環境の保全を図るための治山施設の整備



取組 3 3 地域ぐるみの防災体制の充実

- ア 宮城県総合防災情報システムなど素早い情報伝達のためのネットワークの充実
- イ 高齢者、障害者などの要援護者をはじめとした住民のすみやかな避難体制や避難所運営体制づくりへの支援と、地域間の相互応援体制づくりへの支援
- ウ 災害ボランティアの受け入れや活動がスムーズに行えるための体制づくりへの支援と、民間事業者との協働体制づくり
- エ 被災後のすみやかな生活安定を支援する体制づくり
- オ 自主防災組織の育成、防災訓練への参加促進、幼年期からの防災教育の充実
- カ 行政や関係機関での、防災に関する深い知識や高い判断能力を持った防災担当職員の育成
- キ 企業や地域において防災活動の中心となる防災リーダーの育成
- ク 企業における B C P (緊急時でも被害を最小限に食い止め、事業を継続・早期復旧できるようにするために定める計画)策定など企業の防災対策への支援



2 特定項目（テーマ）調査結果

3つの特定項目（「農業・農村」「食の安全・安心」「治安・防災」）について調査した結果は次のとおりです。

※（ ）の数値は、各問に占める当該選択肢の（県全体）回答割合。下線の付いた選択肢は各問の第1位回答率。

■ 農業・農村について

問1：あなたは、農業・農村が持っている役割として何が重要だと思いますか。

1から9のうち、あてはまる番号を2つまで選び○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------------|---------------------------------------------|
| 1 食料の生産・供給 (44.3%) | 2 地域の人々が働き、生活する場の提供 (23.5%) |
| 3 洪水防止など国土を守る役割 (5.5%) | 4 地下水かん養など生活や環境に必要な水の確保 (6.5%) |
| 5 自然環境や田園景観など安らぎの場の提供 (9.7%) | 6 農業体験や自然体験など教育・レクリエーションの場の提供 (6.0%) |
| 7 お祭りなど伝統文化の保存の場 (3.1%) | 8 その他 (0.5%) |
| | 9 わからない (0.8%) |

問2：あなたは、水田や畑などを農地として維持していくことについてどのように思いますか。

1から6のうち、あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

- | |
|-------------------------------------------------------------------------|
| 1 農地は食料等の供給や緑地空間の提供など重要な役割を果たしているため、現状を維持すべき (59.2%) |
| 2 食料供給の上で大切であるが、商・工業の振興などへの利用も同じように重要であるため、計画的な土地利用を図るべき (20.6%) |
| 3 農地として利用するかどうかは土地所有者に任せるべき (10.2%) |
| 4 農地は現状を維持できないと思うので、農地以外の利用を優先すべき (4.7%) |
| 5 その他 (1.6%) |
| 6 わからない (3.6%) |

問3：農業・農村は食料の生産・供給以外の役割（洪水防止、水源の確保、自然環境や景観の保全、快適性や教育・文化など）を持っているので、地域住民によるボランティア活動や、地域と行政が協働して保全活動を行うなど、地域支援をすべきだという意見があります。この意見について、あなたはどのように思いますか。

1から5のうち、あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

- | | |
|--------------------------------|-------------------------------|
| 1 そう思う (47.7%) | 2 どちらかといえばそう思う (34.1%) |
| 3 どちらかといえばそう思わない (4.4%) | 4 そう思わない (4.1%) |
| 5 わからない (9.7%) | |

問4：現在、農村地域において農業従事者の高齢化や耕作放棄地の増加が進んでいます。

あなたは、本県の農業・農村が持つ多くの役割を維持していく上で、県はどのような支援を行ってほしいと思いますか？

1から9のうち、あてはまる番号を2つまで選び○をつけてください。

- | | |
|---------------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| 1 農業者に対する所得の補償 (25.9%) | 2 食料自給率の重要性と向上の理解に向けた県民への情報発信 (14.5%) |
| 3 <u>安定した収入の得られる仕事としての農業施策の誘導 (29.2%)</u> | 4 農業者の経営力を向上するための技術支援 (7.4%) |
| 5 地域の将来を担う農家の育成支援や企業が農業に参入することへの支援 (14.5%) | 6 地域（農家も含めた）が主体となった維持保全活動に対する支援 (6.1%) |
| 7 県として支援する必要はない (0.5%) | 8 その他 (0.4%) |
| | 9 わからない (1.5%) |



■ 食の安全・安心について

問5:ここ1～2年、賞味期限・消費期限の改ざんや原料原産地の偽装など食品に関係する事件が発生し、大きな社会問題になっています。

あなたは、身近な食品の表示についてどのように感じていますか。

1から5のうち、あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| 1 信頼している (12.0%) | 2 どちらかといえば信頼している (52.1%) |
| 3 どちらかといえば信頼していない (22.5%) | 4 信頼していない (9.9%) |
| | 5 わからない (3.5%) |

問6:あなたは、食品の安全と安心が確保されるためには、どのようなことが必要だと思いますか。

1から9のうち、あてはまる番号を2つまで選び○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------------------------------|----------------|
| 1 生産者や事業者のモラルの向上 (23.1%) | |
| 2 生産者や事業者の品質管理体制等の強化 (14.4%) | |
| 3 生産者や事業者による正しい食品表示や情報の提供 (13.4%) | |
| 4 生産者や事業者による食品の生産や販売時の検査の実施と結果の公開 (10.4%) | |
| 5 行政の監視・指導や罰則の強化 (11.3%) | |
| 6 消費者の意識向上や正しい知識の習得 (9.5%) | |
| 7 国内自給率アップや地産地消(地域で生産された農産物や水産物を地域で消費すること)の促進 (17.0%) | |
| 8 その他 (0.4%) | 9 わからない (0.6%) |



問7:近年、生産者の顔が見えるという安心感から、地元で生産された食品への関心が高まっていますが、あなたは宮城県産の食品を購入していますか。

1から5のうち、あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1 購入している (54.5%) | 2 どちらかといえば購入している (34.9%) |
| 3 どちらかといえば購入していない (4.4%) | 4 購入していない (1.3%) |
| | 5 わからない (4.9%) |

付問1:問7で【3】、【4】を選んだ方にお聞きします。

あなたが宮城県産の食品を購入していない理由は何ですか。

1から9のうち、あてはまる番号を2つまで選び○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------------------|----------------|
| 1 購入したい食品に宮城県産のものがないから (10.3%) | |
| 2 身近に県内産の食品を取り扱っているお店がない(少ない)から (22.1%) | |
| 3 県外産のものに比べ価格が高いから (33.1%) | |
| 4 県外産のものに比べ信頼性(安全・安心感)がないから (2.9%) | |
| 5 県外産のものに比べおいしいと思わないから (5.1%) | |
| 6 県外産のものに比べブランド力(知名度)がないから (11.0%) | |
| 7 特に理由はない (11.0%) | 8 その他 (4.4%) |
| | 9 わからない (0.0%) |



■ 治安・防災について

問8: あなたは、日常生活を送る上で、治安についてどのように感じていますか。

1から5のうち、あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1 良い (13.8%) | 2 どちらかといえば良い (56.3%) |
| 3 どちらかといえば悪い (18.6%) | 4 悪い (4.1%) |
| | 5 わからない (7.2%) |

付問1: 問8で【1】又は【2】を選んだ方にお聞きします。

あなたが日常生活を送る上で治安が良い(どちらかといえば良い)と感じる理由は何ですか。

1から8のうち、あてはまる番号を2つまで選び○をつけてください。

- | |
|-----------------------------------------|
| 1 以前に比べて事件事故が少なくなってきたと感じるから (8.9%) |
| 2 <u>自分の身近に事件事故の発生がないから (41.8%)</u> |
| 3 安全安心に関する地域ボランティア活動が活発になってきたから (11.4%) |
| 4 個人の規範意識が高まってきたから (13.8%) |
| 5 警察官によるパトロール活動等が活発になってきたから (9.6%) |
| 6 地域社会における連携が強化されてきたから (12.4%) |
| 7 その他 (1.3%) |
| 8 わからない (0.8%) |



付問2: 問8で【3】又は【4】を選んだ方にお聞きします。

あなたが日常生活を送る上で治安が悪い(どちらかといえば悪い)と感じる理由は何ですか。

1から8のうち、あてはまる番号を2つまで選び○をつけてください。

- | |
|-------------------------------------------|
| 1 <u>以前に比べて事件事故が多くなってきたと感じるから (36.0%)</u> |
| 2 自分の身近で事件事故が発生したから (15.5%) |
| 3 安全安心に関する地域ボランティア活動が十分ではないから (2.6%) |
| 4 個人の規範意識が弱まったから (11.7%) |
| 5 警察官によるパトロール活動等が十分ではないから (13.2%) |
| 6 地域社会における連携が弱まったから (17.8%) |
| 7 その他 (2.6%) |
| 8 わからない (0.6%) |

問9: あなたは、治安を向上させるために、どのような対策が必要だと思いますか。

1から11のうち、あてはまる番号を3つまで選び○をつけてください。

- | | |
|--------------------------------------|----------------------------|
| 1 空き巣等の侵入犯罪の抑止 (8.5%) | 2 ひったくり等の街頭犯罪の抑止 (3.7%) |
| 3 <u>子ども、女性、高齢者に対する犯罪の抑止 (17.8%)</u> | 4 少年非行の抑止 (12.2%) |
| 5 暴力団、外国人犯罪の取締り (8.7%) | |
| 6 交通事故の抑止対策や飲酒運転の根絶対策 (14.0%) | |
| 7 パトロール等の街頭活動の強化 (13.5%) | 8 家庭や事業者への巡回連絡活動の強化 (6.1%) |
| 9 防犯カメラや街路灯等の防犯環境整備 (14.2%) | |
| 10 その他 (0.9%) | 11 わからない (0.4%) |



問 10: あなたが治安に関する情報として、もっと提供してほしいと思うことは何ですか。

1から14のうち、あてはまる番号を3つまで選び○をつけてください。

- 1 近所で発生した犯罪に関する情報 (20.4%)
- 2 近所で発生した交通事故や飲酒運転に関する情報 (6.6%)
- 3 声かけ事案等の子どもに対する犯罪情報 (9.7%)
- 4 ストーカー、DV等の女性に対する犯罪情報 (2.5%)
- 5 ひったくり、振り込め詐欺等の高齢者に対する犯罪情報 (12.1%)
- 6 暴力団、外国人による犯罪の実態 (5.8%)
- 7 テロ行為等に関する情報 (0.8%)
- 8 犯罪の手口と被害に遭わないための注意点 (15.0%)
- 9 犯罪被害に遭った場合の支援に関する情報 (8.8%)
- 10 防犯に関する商品や設備の情報 (3.8%)
- 11 交通安全や防犯のボランティア活動に関する情報 (3.8%)
- 12 警察が行っている対策及びその推進状況 (9.4%)
- 13 その他 (0.2%)
- 14 わからない (1.0%)

問 11: 近年に発生する確率が高いと言われている宮城県沖地震についてお聞きます。

あなたは、宮城県沖地震にどの程度関心を持っていますか。

1から5のうち、あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

- 1 関心がある (75.8%)
- 2 どちらかといえば関心がある (20.3%)
- 3 どちらかといえば関心はない (2.3%)
- 4 関心はない (0.3%)
- 5 わからない (1.4%)

問 12: 大規模な地震による災害に備えて、あなたのご自宅で行っていることは何ですか。

1から14のうち、あてはまる番号をすべて選び○をつけてください。

- 1 非常持出品(懐中電灯、携帯ラジオ、非常食など)を用意している (13.6%)
- 2 消火器などを用意している (15.5%)
- 3 地震発生時に避難する・集合する緊急避難場所を(家族で)決めている (7.8%)
- 4 ガスを使わないときにはガス栓を閉めている (10.1%)
- 5 風呂にいつも水をためている (14.4%)
- 6 家族との連絡方法を決めている (3.9%)
- 7 火器器具の周りを整理している (6.3%)
- 8 自宅の耐震診断を行っている (1.7%)
- 9 いつも非常用として何日か分の食糧(非常食・水など)を用意している (5.4%)
- 10 家具類の転倒防止対策をしている (9.1%)
- 11 地域や職場の地震防災訓練に参加したことがある (9.3%)
- 12 その他 (0.2%)
- 13 特に備えていない (2.5%)
- 14 わからない (0.2%)



問 13: あなたのご自宅の地域で災害が起きた場合、どのような手段で災害情報を得ようと思いますか。

1から10のうち、あてはまる番号を2つまで選び○をつけてください。

- 1 ラジオ (23.9%)
- 2 テレビ (22.6%)
- 3 携帯電話 (14.1%)
- 4 インターネット (1.3%)
- 5 町内放送 (22.6%)
- 6 直接避難所や市町村役場に聞きに行く (5.3%)
- 7 近所の人に聞く (9.4%)
- 8 その他 (0.2%)
- 9 特に情報を得ようと思わない (0.1%)
- 10 わからない (0.5%)

IV 参考資料

1 回答者属性一覧

区 分		実数（人）	構成比（%）
一般県民（全体）		1,842	100.0
性別	男性	831	46.3
	女性	962	53.7
年齢	20歳代	140	7.8
	30歳代	205	11.5
	40歳代	250	14.0
	50歳代	408	22.9
	60～64歳	201	11.3
	65歳以上	580	32.5
居住地（圏域）	仙南圏域	255	14.8
	仙台圏域	215	12.5
	大崎圏域	251	14.6
	栗原圏域	281	16.3
	登米圏域	249	14.4
	石巻圏域	233	13.5
	気仙沼・本吉圏域	241	14.0
職業	自営業・家族従業者	293	16.9
	被用者	693	40.1
	企業役員・団体代表等	25	1.4
	専業主婦（主夫）	268	15.5
	学生	19	1.1
	無職	358	20.7
	その他	74	4.3
業種別	農業	183	17.6
	林業	4	0.4
	水産漁業	36	3.5
	土木・建築業	83	8.0
	製造業	191	18.4
	電気・ガス・水道	30	2.9
	情報・通信業	15	1.4
	運輸業	31	3.0
	卸・小売業	90	8.7
	金融・保険・不動産業	24	2.3
	飲食・宿泊・その他サービス業	152	14.7
	医療・福祉関連業	90	8.7
	教育・学習関連業	44	4.2
	その他	64	6.2

※各属性には不明分があるため、属性毎の実数の合計と全体の合計とは一致しません。



2 重視度集計表

政策推進の基本方向・課題		宮城の未来をつくる33の取組	重要	やや重要	あまり重要ではない	重要ではない	わからない	計	欠損値
1 富県宮城の実現 ↳ 県内総生産10兆円への挑戦	(1) 育成・誘致による県内製造業の集積促進	取組 1 地域経済を力強くけん引するものづくり産業(製造業)の振興	583	580	254	67	268	1,752	90
		取組 2 産学官の連携による高度技術産業の集積促進	424	579	271	88	388	1,750	92
		取組 3 豊かな農林水産資源と結びついた食品製造業の振興	779	641	127	25	179	1,751	91
	(2) 観光資源, 知的資産を活用した商業・サービス産業の強化	取組 4 高付加価値型サービス産業・情報産業及び地域商業の振興	266	608	294	80	466	1,714	128
		取組 5 地域が潤う・訪れてよしの観光王国みやぎの実現	541	655	226	59	238	1,719	123
	(3) 地域経済を支える農林水産業の競争力強化	取組 6 競争力ある農林水産業への転換	478	663	202	65	318	1,726	116
		取組 7 地産地消や食育を通じた需要の創出と食の安全安心の確保	832	608	99	30	180	1,749	93
	(4) アジアに開かれた広域経済圏の形成	取組 8 県内企業のグローバルビジネスの推進と外資系企業の立地促進	206	509	353	144	516	1,728	114
		取組 9 自立的に発展できる経済システム構築に向けた広域経済圏の形成	212	521	322	140	529	1,724	118
	(5) 産業競争力の強化に向けた条件整備	取組 10 産業活動の基礎となる人材の育成・確保	487	611	190	59	400	1,747	95
		取組 11 経営力の向上と経営基盤の強化	315	579	207	93	504	1,698	144
		取組 12 みやぎの飛躍を支える産業基盤の整備	516	579	202	61	369	1,727	115
2 安心と活力に満ちた地域社会づくり	(6) 子どもを生み育てやすい環境づくり	取組 13 次代を担う子どもを安心して生み育てることができる環境づくり	1,159	406	54	15	109	1,743	99
		取組 14 家庭・地域・学校の協働による子どもの健全な育成	882	587	92	29	138	1,728	114
	(7) 将来のみやぎを担う子どもの教育環境づくり	取組 15 着実な学力向上と希望する進路の実現	893	553	78	25	175	1,724	118
		取組 16 豊かな心と健やかな体の育成	768	608	121	34	197	1,728	114
		取組 17 児童生徒や地域のニーズに応じた特色ある教育環境づくり	626	668	154	31	219	1,698	144
	(8) 生涯現役で安心して暮らせる社会の構築	取組 18 多様な就業機会や就業環境の創出	565	687	151	43	264	1,710	132
		取組 19 安心できる地域医療の充実	1,172	408	40	10	103	1,733	109
		取組 20 生涯を豊かに暮らすための健康づくり	641	701	156	28	205	1,731	111
		取組 21 高齢者が元気に安心して暮らせる環境づくり	853	602	96	31	163	1,745	97
		取組 22 障害があっても安心して生活できる地域社会の実現	679	683	112	28	231	1,733	109
(9) コンパクトで機能的なまちづくりと地域生活の充実	取組 23 生涯学習社会の確立とスポーツ・文化芸術の振興	235	644	378	80	364	1,701	141	
	取組 24 コンパクトで機能的なまちづくりと地域生活の充実	382	680	240	61	342	1,705	137	
	(10) だれもが安全に, 尊重し合いながら暮らせる環境づくり	取組 25 安全で安心なまちづくり	608	684	155	32	247	1,726	116
取組 26 外国人も活躍できる地域づくり		168	588	349	139	476	1,720	122	
3 人と自然が美しく調和した県土づくり	(11) 経済・社会の持続的発展と環境保全の両立	取組 27 環境に配慮した社会経済システムの構築と地球環境保全への貢献	667	606	144	37	287	1,741	101
		取組 28 廃棄物等の3Rと適正処理の推進	872	591	74	19	183	1,739	103
	(12) 豊かな自然環境, 生活環境の保全	取組 29 豊かな自然環境, 生活環境の保全	602	661	142	40	285	1,730	112
	(13) 住民参画型の社会資本や良好な景観の形成	取組 30 住民参画型の社会資本整備や良好な景観の形成	336	699	246	64	381	1,726	116
	(14) 宮城県沖地震など大規模災害による被害を最小限にする県土づくり	取組 31 宮城県沖地震に備えた施設整備や情報ネットワークの充実	1,201	383	42	11	103	1,740	102
		取組 32 洪水や土砂災害などの大規模自然災害対策の推進	852	589	80	14	187	1,722	120
		取組 33 地域ぐるみの防災体制の充実	756	644	108	20	195	1,723	119

3 満足度集計表

政策推進の基本方向・課題		宮城の未来をつくる33の取組					満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	計	欠損値
1 富県宮城の実現 ↳ 県内総生産10兆円への挑戦	(1) 育成・誘致による県内製造業の集積促進	取組 1 地域経済を力強くけん引するものづくり産業(製造業)の振興	183	655	308	97	486	1,729	113				
		取組 2 産学官の連携による高度技術産業の集積促進	125	534	299	94	672	1,724	118				
		取組 3 豊かな農林水産資源と結びついた食品製造業の振興	180	720	372	114	350	1,736	106				
	(2) 観光資源、知的資産を活用した商業・サービス産業の強化	取組 4 高付加価値型サービス産業・情報産業及び地域商業の振興	78	429	330	77	782	1,696	146				
		取組 5 地域が潤う・訪れてよしの観光王国みやぎの実現	159	618	375	97	459	1,708	134				
	(3) 地域経済を支える農林水産業の競争力強化	取組 6 競争力ある農林水産業への転換	132	536	349	128	578	1,723	119				
		取組 7 地産地消や食育を通じた需要の創出と食の安全安心の確保	177	679	361	111	385	1,713	129				
	(4) アジアに開かれた広域経済圏の形成	取組 8 県内企業のグローバルビジネスの推進と外資系企業の立地促進	52	368	309	135	846	1,710	132				
		取組 9 自立的に発展できる経済システム構築に向けた広域経済圏の形成	66	425	270	82	862	1,705	137				
	(5) 産業競争力の強化に向けた条件整備	取組 10 産業活動の基礎となる人材の育成・確保	104	464	351	115	690	1,724	118				
		取組 11 経営力の向上と経営基盤の強化	80	371	320	113	798	1,682	160				
		取組 12 みやぎの飛躍を支える産業基盤の整備	136	514	320	108	623	1,701	141				
2 安心と活力に満ちた地域社会づくり	(6) 子どもを生み育てやすい環境づくり	取組 13 次代を担う子どもを安心して生み育てることができる環境づくり	211	519	429	268	288	1,715	127				
		取組 14 家庭・地域・学校の協働による子どもの健全な育成	198	615	368	143	385	1,709	133				
	(7) 将来のみやぎを担う子どもの教育環境づくり	取組 15 着実な学力向上と希望する進路の実現	140	552	366	159	487	1,704	138				
		取組 16 豊かな心と健やかな体の育成	168	544	386	148	453	1,699	143				
		取組 17 児童生徒や地域のニーズに応じた特色ある教育環境づくり	133	560	364	137	492	1,686	156				
	(8) 生涯現役で安心して暮らせる社会の構築	取組 18 多様な就業機会や就業環境の創出	112	491	365	142	580	1,690	152				
		取組 19 安心できる地域医療の充実	184	436	433	337	320	1,710	132				
		取組 20 生涯を豊かに暮らすための健康づくり	144	586	370	112	494	1,706	136				
		取組 21 高齢者が元気に安心して暮らせる環境づくり	199	548	384	158	444	1,733	109				
		取組 22 障害があっても安心して生活できる地域社会の実現	135	500	376	117	577	1,705	137				
(9) コンパクトで機能的なまちづくりと地域生活の充実	取組 23 生涯学習社会の確立とスポーツ・文化芸術の振興	69	484	317	90	726	1,686	156					
	取組 24 コンパクトで機能的なまちづくりと地域生活の充実	63	405	381	171	667	1,687	155					
	(10) だれもが安全に、尊重し合いながら暮らせる環境づくり	取組 25 安全で安心なまちづくり	120	517	371	121	577	1,706	136				
取組 26 外国人も活躍できる地域づくり		68	368	253	71	940	1,700	142					
3 人と自然が美しく調和した県土づくり	(11) 経済・社会の持続的発展と環境保全の両立	取組 27 環境に配慮した社会経済システムの構築と地球環境保全への貢献	119	483	381	125	598	1,706	136				
		取組 28 廃棄物等の3Rと適正処理の推進	196	559	393	139	415	1,702	140				
	(12) 豊かな自然環境、生活環境の保全	取組 29 豊かな自然環境、生活環境の保全	145	567	314	87	599	1,712	130				
	(13) 住民参画型の社会資本や良好な景観の形成	取組 30 住民参画型の社会資本整備や良好な景観の形成	93	444	337	90	729	1,693	149				
	(14) 宮城県沖地震など大規模災害による被害を最小限にする県土づくり	取組 31 宮城県沖地震に備えた施設整備や情報ネットワークの充実	254	625	364	126	334	1,703	139				
		取組 32 洪水や土砂災害などの大規模自然災害対策の推進	180	557	321	111	525	1,694	148				
取組 33 地域ぐるみの防災体制の充実		161	547	333	92	560	1,693	149					